

(様式第 9)

塾病庶発第 2 3  
平成 2 3 年 1 0

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人 慶應義塾  
理事長 清家

慶應義塾大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	236 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	659人	83人	683.4人	看護補助者	114人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	12人	23.8人	理学療法士	13人	臨床検査技師	134人
薬剤師	97人	2人	98.2人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	15人	その他	0人
助産師	34人	1人	34.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1003人	18人	1013.1人	臨床工学技士	24人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	6人	0人	6人	栄養士	13人	その他の技術員	38人
歯科衛生士	4人	0人	4人	歯科技工士	3人	事務職員	212人
管理栄養士	22人	0人	22人	診療放射線技師	67人	その他の職員	46人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	893人	8人	901人
1日当たり平均外来患者数	3,795人	186人	3,981人
1日当たり平均調剤数	5,416 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	77人	・膿疱性乾癬	1人
・多発性硬化症	73人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	126人	・原発性胆汁性肝硬変	52人
・全身性エリテマトーデス	371人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	35人
・再生不良性貧血	35人	・混合性結合組織病	48人
・サルコイドーシス	49人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	229人	・網膜色素変性症	48人
・特発性血小板減少性紫斑病	117人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	28人	・肺動脈性肺高血圧症	57人
・潰瘍性大腸炎	585人	・神経線維腫症	28人
・大動脈炎症候群	48人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	111人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	35人
・脊髄小脳変性症	44人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	432人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	143人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	12人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	47人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	33人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	67人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	40人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	42人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5. 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る)	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索	・
・強度変調放射線治療	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門週1回、病理診断部門月6回
部 検 の 状 況	部検症例数 73例 / 部検率 17.50%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
別紙				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 727

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙			

計257

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発および評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
HIFの水酸化酵素PHD2をターゲットとした新たな虚血再遠流障害治療法の可能性	南嶋洋司	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 ノバルティス科学振興財団 委
節膜非浸潤性膀胱癌に対するAngiotensin II Receptor Blocker(ARB)を用いた新規膀胱癌治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 がん集学的治療研究財団 委
ダイオキシン受容体による免疫応答制御機構の解明および自己免疫疾患治療への応用	木村彰宏	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委
「1対多」型シナプス形成における軸索領域化原理の解明	松田恵子	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委
クロマチンポリユビキチン化によるDNA相同組み換え修復調節機構の解明	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委
全肝脱細胞化三次元スキャフォールドと幹細胞を用いた重症肝障害の新しい治療戦略	八木洋	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人 かなえ医薬振興財団 委
神経障害性疼痛としての片頭痛の病態解明と治療法の開発	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 日本医師会 委
慢性移植片対宿主病の発症機構における間葉系幹細胞の役割と新規治療法の開発	小川葉子	医学部附属先端医科学研究所	1,500,000 円	補 ○ 日本医師会 委
足場蛋白質Homerによる転写因子NFATを介したアストロサイトのグルタミン酸トランスポートの制御	林真理子	医学部基礎教室	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
新しいリンパ球ナチュラルヘルパー細胞のアレルギー性喘息における役割	茂呂和世	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 ○ 財団法人 持田記念医学薬学振興財団 委
内在性siRNA機構解明とその応用利用	三好啓太	医学部基礎教室	2,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学財団 委
ヒト子宮幹細胞を用いた子宮再建の基盤研究	丸山哲夫	医学部臨床教室	5,000,000 円	補 ○ 財団法人 上原記念生命科学財団 委
甲状腺ホルモン合成障害の分子基盤	鳴海覚志	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 一般財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団 委
直接リプログラミング技術によるヒト心臓線維芽細胞から心筋細胞誘導法の確立	家田真樹	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 財団法人木村記念循環器財団 委
骨代謝・骨組織発生におけるTACEの機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	1,000,000 円	補 ○ 公益財団法人中富健康科学振興財団 委
生体内ガス分子の生体制御機構の解明と医学応用	末松誠	医学部基礎教室	82,476,900 円	補 ○ (独)科学技術振興機構 委
iPS細胞研究国際拠点人材養成事業	岡野栄之	医学部基礎教室	1,680,000 円	補 ○ (独)日本学術振興会 委
再生医学の最前線 ～21世紀の心臓病治療を目指して～	福田恵一	医学部臨床教室	410,000 円	補 ○ (独)日本学術振興会 委
造血幹細胞の代謝解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	6,500,000 円	補 ○ (独)科学技術振興機構 委
「骨代謝」における破骨細胞の細胞融合と代謝制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	12,480,000 円	補 ○ (独)科学技術振興機構 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
内在性神経幹細胞活性化による神経再生戦略—モデル生物系を用いた解析—	岡野栄之	医学部基礎教室	60,989,500円	補 委○ (独)科学技術振興機構
RNAサイレンシングが司る遺伝子情報制御	塩見美喜子	医学部基礎教室	50,050,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
人工癌幹細胞の作製とそれを標的とした創薬研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究 研究所	91,000,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
自然免疫反応におけるシェディングの役割と制御機構	白壁恭子	医学部総合医科学研究 センター	12,870,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
外傷性脊髄障害における機能的ワイヤによる神経機能回復の評価	中村雅也	医学部臨床教室	5,200,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
シグナル伝達機構の解明と操作による個体行動や回路レベルの制御	柚崎通介	医学部基礎教室	53,300,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
生殖細胞の特性に基づく新しいプログラミング手法の開発	永松剛	医学部坂口光洋記念講 座	16,900,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
細胞内機能ドメインが大脳皮質形成に果たす役割の解明	川内健史	医学部基礎教室	23,920,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
顕微質量分析装置の実用化開発	涌井昌俊	医学部臨床教室	17,160,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
質量顕微鏡法における空間特異的情報検出ソフトウェアの開発	涌井昌俊	医学部臨床教室	7,176,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
トリプルネガティブ乳癌治療用抗体医薬の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究 研究所	8,625,000円	補 委○ (独)科学技術振興機構
幹細胞とがん幹細胞	須田年生	医学部坂口光洋記念講 座	23,375,000円	補 委○ (独)日本学術振興会
新たなヒト悪性中皮腫浸潤増殖モデルの開発およびヒト化CD26抗体による悪性中皮腫の新規治療法の開発(07-17)	山田健人	医学部基礎教室	18,000,000円	補 委○ (独)医薬基盤研究所
SOCs-mimeticsの開発とJAK阻害剤のアレルギー性疾患治療への応用(07-04)	吉村昭彦	医学部基礎教室	37,000,000円	補 委○ (独)医薬基盤研究所
内在性オリゴデンドロサイト前駆細胞の分化誘導を基盤とする中枢神経系髄鞘再生医薬の開発(09-24)	中原仁	医学部総合医科学研究 センター	17,000,000円	補 委○ (独)医薬基盤研究所
児童思春期強迫性障害(OCD)診断・治療ガイドラインの検証及び拡充につながる脳機能研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	600,000円	補 委○ 国立精神・神経センター
小児期・思春期の摂食障害の包括的診療システムに関する研究	渡辺久子	医学部臨床教室	300,000円	補 委○ 国立精神・神経センター
我が国と諸外国の軽症・中等うつ病の治療アルゴリズムの検討	渡邊衛一郎	医学部臨床教室	850,000円	補 委○ 国立精神・神経センター
発達期の骨格系(頭蓋顔面と脊椎)病変による高次脳脊髄機能発達障害研究部門:"COE-Trigonocephaly Big 4 Japan"におけるデータの解析と発表準備	高橋里史	医学部臨床教室	300,000円	補 委○ 国立精神・神経センター
神経変性に対する免疫学的介入研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	700,000円	補 委○ 国立精神・神経センター
成長・成熟障害における遺伝子型-表現型解析	長谷川奉延	医学部臨床教室	2,000,000円	補 委○ 国立成育医療センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
小児アトピー性皮膚炎患者における皮膚バリア機能遺伝子変異の解析	海老原全	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 国立成育医療センター 委 ○
抗腫瘍抗原に対する免疫制御法の開発	河上裕	医学部附属先端医科学研究所	1,400,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
食道がんの集学的治療の研究	北川雄光	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
横紋筋肉腫臨床試験	森川康英	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
悪性黒色腫細胞に対する免疫応答の解明とそれに基づく免疫療法の開発	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	1,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
初期研修医に対する心のケアに関する教育プログラムの開発	白波瀬文一郎	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
婦人科領域の遺伝性腫瘍に関する検討	青木大輔	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
オキサリプラチンの感受性を規定するタンパク質の機能解析	谷川原祐介	医学部臨床教室	1,400,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
肺がん外科治療の変遷及び今後の在り方に関する研究	野守裕明	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
がん診療における漢方薬に対する意識調査	今津嘉弘	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
FDG-PETにおける至適腫瘍の検討に関する研究	村上康二	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
新規EMT関連遺伝子を標的とした新しい分子標的薬の開発	津田浩史	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 国立がんセンター 委 ○
生理活性ペプチドのミトコンドリア機能調整作用機序の解明と臨床応用に向けた基盤的研究	伊藤裕	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 国立循環器病センター 委 ○
H12(ADP)リボソームの人工血小板としての前臨床評価(効力と安全性)	半田誠	医学部クラスター部門	35,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
血液凝固異常症に関する調査研究	村田満	医学部臨床教室	74,413,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	吉村泰典	医学部臨床教室	42,800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
プロスタグランジン-12合成酵素遺伝子を用いた肺動脈性肺高血圧症に対する新規治療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	65,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	45,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
臓器特異的ストレス応答探索マウスを用いた疾病予防法の開発	佐野元昭	医学部臨床教室	9,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	17,868,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
腰痛の診断、治療法に関する研究:痛み・しびれの可視化技術の確立並びに、MRIを用いた脊髄投射路及び末梢神経イメージング法の確立	戸山芳昭	医学部臨床教室	31,350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○
腎性インスリン抵抗性症候群に基づく慢性腎臓病新規治療戦略の確立	伊藤裕	医学部臨床教室	73,827,000 円	補 ○ 厚生労働省 委 ○

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
精神療法の有効性の確立と普及に関する研究	大野裕	保健管理センター	18,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
精神科薬物療法アルゴリズムの最適化と均てん化に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	9,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用支援システムの構築	渡辺賢治	医学部クラスター部門	62,400,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	98,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
急性高度難聴に関する調査研究	小川郁	医学部臨床教室	13,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
低侵襲・ヒト幹細胞デリバリーシステムによる重症心不全治療実用化基盤技術の開発	岡本一真	医学部臨床教室	6,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
原因不明小腸潰瘍症の実態把握、疾患概念、疫学、治療体系の確立に関する研究	日比紀文	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV検査相談体制の充実と活用に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	36,386,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
健康危機管理事態において用いる医学的対処の研究開発環境に関する研究	竹内勤	医学部基礎教室	4,745,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Calciphylaxisの診断・治療に関わる調査・研究	林松彦	医学部クラスター部門	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
VATER症候群の臨床診断基準の確立と新基準にもとづく有病率調査およびDNAバンク・iPS細胞の確立	小崎健次郎	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
CHARGE症候群の成人期の病像の解明と遺伝子診断の臨床応用・iPS細胞の確立	小崎健次郎	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
人工赤血球の臨床応用を目指した至適投与方法の策定とGMP製造技術の確立	堀之内宏久	医学部臨床教室	37,150,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
人工赤血球のICU使用を目的とした最適化およびME技術の改良	武田純三	医学部臨床教室	10,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
東アジア伝統医学のインフォメーションモデルの研究	渡辺賢治	医学部クラスター部門	2,744,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
筋骨格系の慢性疼痛に係わる調査研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	19,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
動作解析装置を用いた歩行障害・ADL障害の解明に関する研究	松本秀男	医学部クラスター部門	16,350,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
子宮体がんに対する標準的化学療法の確立に関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	19,904,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
関節リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に関する研究	竹内勤	医学部基礎教室	45,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
非致死性骨形成不全症の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ヒト幹細胞を用いた臨床研究のエビデンス創出から高度医療制度による実用化を目指した研究	坪田一男	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
機能性ディスペプシアに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための多施設共同二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	鈴木秀和	医学部臨床教室	47,515,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方薬による免疫がん微小環境の改善と作用機序の解明	河上裕	医学部附属先端医科学研究	22,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
ステロイド依存性感音難聴の新しい診断法および診断基準に関する検討	井上泰宏	医学部臨床教室	19,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
国際水準の臨床研究・治験を推進する先進的運営・教育・支援体制の確立	末松誠	医学部基礎教室	123,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
突発性心筋症に関する調査研究	福田恵一	医学部臨床教室	1,100,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
同種末梢血幹細胞移植を非血縁者間で行う場合等の医学、医療、社会的基盤に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	森毅彦	医学部臨床教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	杉山和夫	医学部総合医科学研究センター	3,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
献血の安全性確保と安定供給のための新興感染症等に対する検査・スクリーニング法等の開発と献血制限に関する研究	三浦左千夫	医学部基礎教室	2,300,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
輸血副作用把握体制の確立・特に免疫学的副作用の実態把握とその対応	半田誠	医学部クラスター部門	750,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	平形道人	医学部医学教育統轄センター	2,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性疾患克服研究の評価ならびに研究の方向性に関する研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
MRIを用いた脳卒中発症・再発予防のためのより有効な降圧治療のエビデンスの創出	伊藤裕	医学部臨床教室	500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
呼吸不全に関する調査研究	浅野浩一郎	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
慢性C型肝炎のインターフェロン療法における幹細胞機能の変化とうつ病発症に関する基礎・臨床連携研究	岡野栄之	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発	岡野栄之	医学部基礎教室	1,500,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	千葉一裕	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱管狭窄症の診断・治療法の開発」	千葉一裕	医学部臨床教室	1,200,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
パーチェット病に関する調査研究	桑名正隆	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委
心筋分化液性因子の検討と心筋細胞の大動物への移植	三好俊一郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
自己免疫疾患、アレルギー疾患の治療を目標としたヘルパーT細胞の分化に関わる因子の探索	吉村昭彦	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	桑名正隆	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	3,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
難聴者自立支援のための埋め込み型骨導補聴器の開発	神崎昌	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	永尾圭介	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	4,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
スモンに関する調査研究	里宇明元	医学部臨床教室	700,000円	補 ○ 厚生労働省 委
漢方薬「熊胆」の作用機序の解明からC型肝炎治療薬の開発	末松誠	医学部基礎教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸疾患のゲノムおよびエピゲノム解析による病因・病態・治療抵抗性機序の解明	日比紀文	医学部臨床教室	7,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	小川郁	医学部臨床教室	600,000円	補 ○ 厚生労働省 委
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	日比紀文	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・転移等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学的分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に資する研究	坂元亨宇	医学部基礎教室	4,300,000円	補 ○ 厚生労働省 委
レリーウイルス症候群の実態把握と治療指針作成	長谷川奉延	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
致死性骨異形成症の診断と予後に関する研究	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	1,100,000円	補 ○ 厚生労働省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	桑名正隆	医学部臨床教室	3,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	武林亨	医学部基礎教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	柴田洋孝	医学部臨床教室	100,000円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	日比紀文	医学部臨床教室	4,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
安全な生殖補助医療を行うための精液よりのHIVウイルス分離法の確立	加藤真吾	医学部基礎教室	3,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
国内で流行するHIV遺伝子型および薬剤耐性株の動向把握と治療方法の確立に関する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究	加藤真吾	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	武林亨	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	天谷雅行	医学部臨床教室	3,150,000円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	小安重夫	医学部基礎教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
安全な生殖補助医療を行うための精液よりのHIVウイルス分離法の確立	久慈直昭	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
細胞培養弱毒性痘そうワクチンの安全性、有効性及び生産性に関する研究	齋藤智也	医学部基礎教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
CBRNEテロ対策に対する効果的な対策の検証と国際連携ネットワークの活用に関する研究	齋藤智也	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	森岡秀夫	医学部臨床教室	400,000円	補 ○ 厚生労働省 委
浸潤・転移等、がんの重要な臨床的特性の病理・病態学的分子基盤の解析とそれに基づく診断・治療法の開発に資する研究	岡田保典	医学部基礎教室	4,300,000円	補 ○ 厚生労働省 委
難治性疾患の医療費構造に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	関口進一郎	医学部臨床教室	400,000円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫性神経疾患に関する調査研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	900,000円	補 ○ 厚生労働省 委
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	鈴木則宏	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
レチノイド関連化合物の消化管免疫疾患への治療応用	日比紀文	医学部臨床教室	5,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
内臓錯位症候群の疫学と治療実態に関する研究	山岸敬幸	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
更年期障害に対する加味逍遥散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	吉村泰典	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
軟骨無形成症の病態解明と治療法の開発	長谷川奉延	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	丸山哲夫	医学部臨床教室	700,000円	補 ○ 厚生労働省 委
胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成	小崎健次郎	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
Rubinstein-Taybi症候群の臨床診断基準の策定と新基準にもとづく有病率の調査研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	3,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
女性生殖器における妊孕能の客観的な評価法の確立	浜谷敏生	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
女性生殖器における妊孕能の客観的な評価法の確立	浅田弘法	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
小児がんに対する標準治療・診断確率のための研究	嶋田博之	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
超高感度電気化学イメージング技術を応用したヒト生殖細胞クオリティー診断装置の開発	浜谷敏生	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
母子コホート研究による成育疾患等の病態解明に関する研究	田中守	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
健康食品の情報提供システム体制の構築と安全性確保に関する研究	信川益明	医学部寄附講座	2,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
ロイス・ディーツ症候群の診断・治療のガイドライン作成および新規治療法の開発に向けた臨床所見の収集と治療成績の検討	渡辺航太		0円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱変形に合併した胸郭不全症候群の全国実態調査により把握された患者の継続調査と二次性の原因により発症する胸郭不全症候群の全国調査	松本守雄	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
脊柱変形に合併した胸郭不全症候群の全国実態調査により把握された患者の継続調査と二次性の原因により発症する胸郭不全症候群の全国調査	渡辺航太		0円	補 ○ 厚生労働省 委
小児悪性固形腫瘍領域における体系的な臨床試験実施に基づく適応外医薬品の臨床導入の妥当性検討に関する研究	森川康英	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
日本におけるリンパ管腫患者(特に重症患者の長期経過)の実態調査および治療方針の作成	森川康英	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予防のための地域代表性を有する大規模住民コホート追跡調査	西脇祐司	医学部基礎教室	4,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
未受診者対策を含めた検診・保健指導を用いた循環器疾患予防のための地域保健クリティカルパスの開発と実践に関する研究	西脇祐司	医学部基礎教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
自然免疫細胞リモデリングによるウイルス性肝炎の新規治療法の開発	瀧本康史	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	大家基嗣	医学部臨床教室	300,000円	補 ○ 厚生労働省 委
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	大家基嗣	医学部臨床教室	250,000円	補 ○ 厚生労働省 委
進行卵巣・腹膜癌に対する腹腔内化学療法確立のための研究	青木大輔	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
国内外科手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助療法の確立	長谷川博俊	医学部臨床教室	1,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究	北川雄光	医学部臨床教室	300,000円	補 ○ 厚生労働省 委
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	北川雄光	医学部臨床教室	400,000円	補 ○ 厚生労働省 委
標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究	青木大輔	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
重症型のレンサ球菌・肺炎球菌感染症に対するサーベイランスの構築と病因解析、その診断治療に関する研究	藤島清太郎	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	戸山芳昭	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	中村雅也	医学部臨床教室	500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
進行卵巣がんに対する分子標的薬の国際共同・医師主導治験	青木大輔	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
突発性大腿骨壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	竹内勤	医学部臨床教室	1,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
間接リウマチの間接破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び、根治・修復療法の開発に関する研究	竹内勤	医学部臨床教室	2,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
免疫アレルギー疾患の予防・治療法の開発及び確立に関する臨床研究:関節リウマチ患者の生命予後からみた至適医療の確立に関する臨床研究	竹内勤	医学部臨床教室	3,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	竹内勤	医学部臨床教室	2,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
多例CTを用いた冠動脈プラークの性状判定と冠動脈イベント発症との関連についての多施設・前向き追跡調査	栗林幸夫	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
精神神経疾患の病態診断と治療評価のためのイメージングバイオマーカーの開発と臨床応用	加藤元一郎	医学部臨床教室	2,500,000円	補 ○ 厚生労働省 委
スポーツ・運動の総合失調症の認知機能・高次脳機能障害に対する効果に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	150,000円	補 ○ 厚生労働省 委
認知神経科学的アプローチによる精神神経疾患に対する偏見の実態調査と偏見軽減に関する研究	加藤元一郎	医学部臨床教室	1,850,000円	補 ○ 厚生労働省 委
国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究	大野裕	保健管理センター	300,000円	補 ○ 厚生労働省 委
自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	大野裕	保健管理センター	0円	補 ○ 厚生労働省 委
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法確立に関する研究	長谷川博俊	医学部臨床教室	800,000円	補 ○ 厚生労働省 委
高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究-消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討	横山健次	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
特発性造血障害に関する調査研究	岡本真一郎	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委
精神科病院の機能分化に関する実態の分析と方法論の開発に関する研究	池上直己	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
我が国の保健医療制度に関する包括的実証研究	池上直己	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
ケースメソッドを利用した、医療機器経営に関わる専門人材の養成・能力開発プログラムの開発と実証に関する研究	池上直己	医学部基礎教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
肥厚性皮膚骨膜炎における遺伝子診断と生化学的検査を踏まえた新しい病型分類の提言と既存治療法の再評価に関する研究	石河晃	医学部臨床教室	0円	補 ○ 厚生労働省 委
新規疾患、IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	坪田一男	医学部臨床教室	700,000円	補 ○ 厚生労働省 委
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	坪田一男	医学部臨床教室	2,000,000円	補 ○ 厚生労働省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
特発性周辺部角膜潰瘍の実態調査および診断基準の確立	坪田一男	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
ペルーシド角膜辺縁変性の実態調査と診断基準作成	坪田一男	医学部臨床教室	1,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
新生児および乳幼児肝血管腫に対する治療の実態把握ならびに治療ガイドライン作成の研究	星野健	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
Alagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成、実態調査並びに生体資料のバンク化	小崎健次郎	医学部臨床教室	2,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	700,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
ロイス・ディーツ症候群の診断・治療のガイドライン作成および新規治療法の開発に向けた臨床所見の収集と治療成績の検討	小崎健次郎	医学部臨床教室	0 円	厚生労働省 補 ○ 委
EEC症候群における有病率調査と実態調査研究	小崎健次郎	医学部臨床教室	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
Rubinstein-Taybi症候群の臨床診断基準の策定と新基準にもとづく有病率の調査研究	柳橋達彦	医学部臨床教室	500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
サージカルトレーニングのあり方に関する研究	吉田一成	医学部臨床教室	150,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
サージカルトレーニングのあり方に関する研究	相磯貞和	医学部基礎教室	150,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
日本人糖尿病合併冠動脈実感患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	香坂俊	医学部寄附講座	2,500,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
日本人糖尿病合併冠動脈実感患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	植田育子	医学部臨床教室	0 円	厚生労働省 補 ○ 委
ライフスタイルの変化に伴う妊娠希望時の妊孕性減弱に対する病態解明、新規診断法と治療開発のための研究	末岡浩	医学部臨床教室	0 円	厚生労働省 補 ○ 委
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	小松浩子	看護医療学部	3,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
幹細胞増殖因子による筋萎縮性索硬化症に対する新規治療法の開発	岡野栄之	医学部基礎教室	60,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
幹細胞増殖因子による筋萎縮性索硬化症に対する新規治療法の開発	中村雅也	医学部臨床教室	20,000,000 円	厚生労働省 補 ○ 委
微生物学・免疫学分野に関する学術動向の調査研究	小安重夫	医学部基礎教室	12,500,000 円	(独)日本学術振興会 補 ○ 委
医歯薬学分野に関する学術動向の調査・研究	天谷雅行	医学部臨床教室	2,600,000 円	(独)日本学術振興会 補 ○ 委
糖タンパク質を含む複合糖鎖抗原に対する人工抗体の研究開発	高柳 淳	医学部基礎教室	2,625,000 円	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 補 ○ 委
高感度DNAチップを用いた発現解析技術を基盤としたiPS細胞の選別・評価・製造技術等の開発	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	31,500,000 円	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 補 ○ 委
iPS細胞等幹細胞から心筋細胞への高効率な分化誘導技術の開発	福田恵一	医学部臨床教室	39,998,700 円	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 補 ○ 委
既設の臨床研究実施基盤をもとに、海外諸機関と連携して日本の臨床研究の水準を高め、国際水準の臨床研究機関を確立する。	末松誠	医学部基礎教室	165,160,000 円	厚生労働省 補 ○ 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
臨床試験の実施	岡本真一郎	医学部臨床教室	800,000円	補 ○ 国立がんセンター
食道がんの周術期ハビリ介入による肺炎予防の効果ならびに患者QOLに関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	1,400,000円	委 補 ○ 国立がんセンター
脂肪滴とC型肝炎との関連の解明	杉山和夫	医学部総合医科学研究センター	1,500,000円	委 補 ○ 国立がんセンター
コホート研究成果の体系化とガイドラインへの適用の検討、生涯罹患リスクの算出と介入研究の応用	岡村智教	医学部基礎教室	2,000,000円	補 委 ○ 国立循環器病センター
Cancer RNAomeから明らかとなった癌関連スモールRNAsのバ イオマーカーとしての検証	座間猛	医学部臨床教室	5,460,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
T細胞分化および樹状細胞分化のリプログラミング	吉村昭彦	医学部基礎教室	99,513,087円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
直接リプログラミングによる心筋細胞誘導の確立と臨床への応用	家田真樹	医学部臨床教室	22,750,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
小分子RNAによるエピゲノム形成の分子機構	齋藤都暁	医学部基礎教室	9,620,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
高機能性鉄磁性体微粒子を用いた乳癌に対する新しい低侵襲・個別化診断・治療法の開発	上田政和	医学部臨床教室	21,624,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
細胞除去/全肝マトリックスを基盤とし、ヒトES細胞由来肝細胞を用いた補助肝臓グラフトの開発とその移植	北川雄光	医学部臨床教室	6,050,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
周波数選択性測定システムの構築から難聴病態解明と次世代補聴器の開発	神崎晶	医学部臨床教室	1,300,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
認知症診断のための髄液型糖鎖の検出プローブ開発	高柳淳	医学部基礎教室	650,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
微小環境がヒトiPS細胞及び胎児由来神経幹細胞の分化・腫瘍化に及ぼす影響	中村雅也	医学部臨床教室	20,800,000円	補 委 ○ (独)科学技術振興機構
高等教育機関における生命科学者のためのデュアルユース生命倫理教育	竹内勤	医学部基礎教室	2,500,000円	補 委 ○ (独)日本学術振興会
心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開	岡野栄之	医学部基礎教室	243,112,034円	補 ○ 内閣府
心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開	岡野栄之	医学部基礎教室	38,602,000円	委 補 ○ 内閣府
疾患モデル動物を用いた病態解明と革新的治療法の開発	福田恵一	医学部臨床教室	19,000,000円	補 ○ 文部科学省
Tissue Biologyの基盤形成による癌の病態解明と革新的診断・治療法の開発	坂元亨宇	医学部基礎教室	10,425,000円	委 補 ○ 文部科学省
微生物学・免疫学分野に関する学術動向の調査研究	小安重夫	医学部基礎教室	12,500,000円	補 委 ○ (独)日本学術振興会
医歯薬学分野に関する学術動向の調査研究	天谷雅行	医学部臨床教室	2,600,000円	補 委 ○ (独)日本学術振興会
抑制性神経細胞に着目した大脳皮質構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,700,000円	補 ○ 日本私立学校振興・共済事業団
「細胞と代謝」の基盤研究を担う若手育成	清家篤	慶應義塾	250,000,000円	委 補 ○ 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
PhD躍動メディカルサイエンス人材養成	清家篤	慶應義塾	100,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
「次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発」 (系統的分子探索に立脚した細胞シミュレーション開発による 臓器代謝モデル構築)	末松誠	医学部基礎教室	43,500,000円	補 ○ 文部科学省 委
「非翻訳RNAによる高次細胞機能発現機構の解明」 (Argonaute蛋白質の構造-機能相関)	塩見春彦	医学部基礎教室	11,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
再生医療の実現化を目指したヒトiPS細胞・ES細胞・体性幹細胞 研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	392,691,000円	補 ○ 文部科学省 委
「日本の特長を活かしたBMIの統合的研究開発」(ブレイン・マ シン・インターフェースの臨床応用を目指した医工連携プロジェ クト-「機能代償システム」から「治療システム」へ-)	里宇明元	医学部臨床教室	38,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
「先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独 創的霊長類モデルの開発と応用」(遺伝子改変コモンマーモ セットによるヒト神経疾患モデルの開発)	岡野栄之	医学部基礎教室	30,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
「生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、環境要因、 その失調の解明」(発生過程の可視化による海馬と大脳新皮 質の形成機構の解明)	仲嶋一範	医学部基礎教室	26,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
iPS由来再生心筋細胞移植の安全性評価	清家篤	慶應義塾	91,000,000円	補 ○ 文部科学省 委
細菌感染時の樹状細胞による自然免疫系と獲得免疫系の連 結機構の解明	小安重夫	医学部基礎教室	16,800,000円	補 ○ 文部科学省 委
メタロプロテアーゼによる組織内微小環境因子代謝の作用機 構解明と制御	岡田保典	医学部基礎教室	16,250,000円	補 ○ 文部科学省 委
成熟脳におけるシナプス維持と記憶の形成-新しい順行性シ グナルの解明	柚崎通介	医学部基礎教室	10,400,000円	補 ○ 文部科学省 委
患者と医療者が分かり合えるがんコミュニケーション促進モデ ルの開発と有用性検証	小松浩子	看護医療学部	7,670,000円	補 ○ 文部科学省 委
片頭痛におけるASICの役割-片頭痛動物モデルを用いた検 討	清水利彦	医学部臨床教室	650,000円	補 ○ 文部科学省 委
定住ラテンアメリカ人のChagas病疫学調査と輸血感染予防対 策	三浦左千夫	医学部基礎教室	910,000円	補 ○ 文部科学省 委
椎間板変性に対する脊索性髄核の役割	辻崇	医学部臨床教室	780,000円	補 ○ 文部科学省 委
プラナリア有性化に伴うGSC/ニッチ・システムの誘導機構	小林一也	医学部総合医科学研究 センター	16,250,000円	補 ○ 文部科学省 委
細胞内細菌処理機構からみた腸管粘膜免疫システムの解明と 炎症性腸疾患治療への応用	井上詠	医学部クラスター部門	11,050,000円	補 ○ 文部科学省 委
転移因子とArgonauteの軍拡競争からゲノムの進化を探る	塩見春彦	医学部基礎教室	41,600,000円	補 ○ 文部科学省 委
インジウム曝露作業者の呼吸器障害に関するコホート研究	大前和幸	医学部基礎教室	9,230,000円	補 ○ 文部科学省 委
成体幹細胞システムを標的にした雌性生殖器官疾患の病因解 明とその制御	吉村泰典	医学部臨床教室	5,590,000円	補 ○ 文部科学省 委
抗がん剤反応性の個体差解明とバイオマーカー開発をめざし たプロテオーム解析	谷川原祐介	医学部臨床教室	6,240,000円	補 ○ 文部科学省 委
心筋レドックス応答におけるアミノ酸代謝の重要性	佐野元昭	医学部臨床教室	3,640,000円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
時期特異的遺伝子強制発現マウスを用いた神経幹細胞のクロマチン調節機構に関する研究	高橋孝雄	医学部臨床教室	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺腺癌のPET診断のための18F-Acetateの合成精製と基礎的研究	野守裕明	医学部臨床教室	6,370,000 円	補 ○ 文部科学省 委
磁性体を用いた新しい子宮内膜症モデルの開発	丸山哲夫	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内耳の易受傷性と加齢変化に関する検討	小川郁	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
若年性心臓突然死の国際比較II-Brugada症候群との関連性	藤田眞幸	医学部基礎教室	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
デルタ2グルタミン酸受容体の新たなシグナル伝達機構-N末端、C末端領域の機能解析	幸田和久	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
樹状細胞が分泌する新規神経幹細胞増殖因子の機能解析	大多茂樹	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
老齢脳における再ミエリן化機構の解明とミエリן再生療法の開発に関する研究	阿相皓晃	医学部クラスター部門	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳波-筋電図コヒーレンスの運動調節における意義	木村彰男	月が瀬リハビリテーションセンター	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
経頭蓋直流電気刺激の脳卒中片麻痺上肢リハビリテーションへの応用	藤原俊之	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
リンパ浮腫に対する治療効果と生理学的機序に関する研究	辻哲也	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体内エネルギー代謝恒常性調節機構解明によるメタボリック症候群へのアプローチ	渡辺光博	医学部寄附講座	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アスコルビン酸の副腎皮質層特異的ステロイドホルモン産生系への関与とその分子機構	三谷美美子	医学部基礎教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
呼吸リズムパターン形成に関わる頸髄呼吸神経回路網の全容解明	岡田泰昌	月が瀬リハビリテーションセンター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
APC活性化因子cdh1を介した細胞移動・浸潤制御の可能性に関する研究	國仲慎治	医学部附属先端医科学研究所	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ピロリ菌のヒトへの新たな感染経路の解明	山田健人	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
B細胞における細胞内シグナル制御因子の生理的機能の解明	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
日米の血漿ホモシステイン、関連ビタミンB群および潜在性動脈硬化所見の比較研究	岡村智教	医学部	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超高齢者の栄養、主観的QOL、健康状態に関する包括的研究	高山美智代	医学部附属クリニカルリサーチセンター	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
潰瘍性大腸炎合併大腸癌に対するp53抗体を用いた新しいサーベイランス法の確立	岩男泰	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アミノ酸代謝モニタリングを用いた炎症性腸疾患の臨床マーカーの確立と治療への応用	久松理一	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病マクロファージの機能解析:オートファジーから見た細菌応答・分化異常	岡本晋	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
脂肪肝炎症病態における、肝インスリン抵抗性・酸化ストレス paradox の解明	富田謙吾	医学部臨床教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化器癌における癌幹細胞の同定、分離および生物学的特性の解析	樋口肇	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心房細動の細胞基質およびアップストリーム治療	城下晃子(竹下晃子)	医学部	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄由来樹状細胞の心筋梗塞後左室リモデリングに及ぼす影響	安齊俊久	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
FG 視覚センサーによる COPD 患者に対する非侵襲的運動負荷検査法の確立	仲村秀俊	医学部	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性腎臓病進展における TRPC6、NF $\kappa$ B、NFAT の分子運搬の役割の解明	林松彦	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
高血圧の退行療法の確立とエピジェネティクス技術を用いた分子機序の検討	篠村裕之	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性期脳梗塞の病態における Stat3 リン酸化の意義	鈴木重明	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
CD103 分子を介した多様な機能発現に関与するシグナル伝達経路の解析	竹内勤	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋炎特異自己抗体の病因的・臨床的意義と病態形成機序の解明	平形道人	医学部医学教育統轄センター	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
BAC 遺伝子導入マウスを用いた StAR のミトコンドリア標的シグナルの必要性の解析	石井智弘	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的発機序および病態生理の解明	長谷川奉延	医学部臨床教室	780,000 円	補 ○ 文部科学省 委
母体低栄養、ステロイド投与のネフロン形成への影響およびそのメカニズムの解明	栗津緑	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胎児副腎の構造的・機能的リモデリングにおける神経細胞接着因子 NCAM の役割	峰岸一宏	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ラミニン5欠損ヒト皮膚を用いた基底膜構成成分の生体内相互作用の免疫電顕的解析	増永卓司	医学部	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
病原活性を持つ新しいモノクローナル抗体を用いた落葉状天疱瘡水疱形成の解明	石河晃	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
損傷修復遺伝子抑制とクロマチン損傷解析による放射線感受性増強法の開発	川田哲也	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
GIST におけるがん幹細胞の同定と機能解析; グリベック耐性克服を目指して	才川義朗	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胸(腹)部大動脈瘤手術における持続的脊髄冷却法による脊髄保護効果の臨床的研究	志水秀行	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
呼吸器外科疾患の早期診断を目指した気道上皮被覆液の生化学的およびプロテオーム解析	渡辺真純	医学部	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における分子生物学的分類の構築と、個別化治療の確立	佐々木光	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌に対する新規 NF- $\kappa$ B 活性化阻害剤を併用した抗癌治療戦略の確立	菊地栄次	医学部臨床教室	260,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
卵子の遺伝子発現プロファイリング解析に基づく抗加齢生殖研究	末岡浩	医学部臨床教室	650,000円	補 ○ 文部科学省 委
MSI陽性子宮体癌におけるフレームシフト変異タンパクの検出と免疫療法への応用	岩田卓	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
ドナー由来線維芽細胞による眼移植片対宿主病の発症機構の解明と治療法の開発	小川葉子	医学部臨床教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
酸化ストレスによる角膜上皮細胞の形質転換と悪性転化の抑制	加藤直子	医学部	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒルシュスプルング病における神経堤幹細胞移植治療の可能性に関する研究	下島直樹	医学部臨床教室	390,000円	補 ○ 文部科学省 委
侵襲病態下における生体内細胞環境変動の解明と、これに基づく新規予防、治療法開発	藤島清太郎	医学部臨床教室	910,000円	補 ○ 文部科学省 委
病原性モノクローナル抗体を用いた天疱瘡の口腔粘膜病変発症機序の解明	角田和之	医学部臨床教室	910,000円	補 ○ 文部科学省 委
がん医療におけるEBNと臨床実践のgapと波及モデルの開発	矢ヶ崎香	看護医療学部	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症の慢性疼痛発症における疼痛関連遺伝子の解析と新規疼痛関連分子の探索	浅田弘法	医学部臨床教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
腫瘍発生リスクのない多能性幹細胞移植治療の開発の基礎的研究	赤松和土	医学部基礎教室	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
造礁サンゴの着底・変態に関わる化学物質の研究	北村誠	医学部総合医科学研究センター	650,000円	補 ○ 文部科学省 委
神経系におけるRNA結合蛋白質Musashi2の機能解析	桑子賢一郎	医学部寄附講座	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
大脳皮質形成の神経細胞の移動と形態変化における膜輸送関連分子群の果たす役割	川内健史	医学部基礎教室	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
質量分析法と重水素交換を用いたリボゾームの反応機序とダイナミクス研究	山本竜也	医学部基礎教室	780,000円	補 ○ 文部科学省 委
上皮細胞繊毛の平面内極性決定機構	廣田ゆき	医学部基礎教室	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト羊膜上皮層のクローディンによる傍細胞経路の調節機構	小林謙	医学部基礎教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
神経伝達物質による樹状突起電位依存性チャネル制御の薬理的解析	塗谷睦生	医学部基礎教室	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
マームセットES細胞由来心筋細胞のシート作製と移植	服部文幸	医学部	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
血中ステロイド一斉測定および病理組織検体を用いた超早産児の副腎機能の検討	三輪雅之	医学部臨床教室	1,040,000円	補 ○ 文部科学省 委
月経関連遺伝子産物の機能解析と子宮内膜症の発症・進展に果たす役割	小田英之	医学部臨床教室	1,040,000円	補 ○ 文部科学省 委
神経特異的ユビキチンリガーゼKspotによるシナプス制御	岡野ジェイムス ス洋尚	医学部基礎教室	2,400,000円	補 ○ 文部科学省 委
神経細胞の分化度に応じて異なる機能を担う受容体メカニズム	仲嶋一範	医学部基礎教室	3,000,000円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
未分化型精原細胞特異的遺伝子ネットワークによる幹細胞維持機構の解明	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	2,400,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Piwi-piRNA複合体による生殖幹細胞維持とクロマチン制御の分子接点	齋藤都暁	医学部基礎教室	3,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
mRNA局在による翻訳多様性の制御	後藤聡	医学部総合医科学研究センター	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
個体脳を用いた系統的な経路遮断実験による物流システムの生理的意義と制御機構の解明	川内健史	医学部基礎教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス雄生殖幹細胞におけるGDNFニッチングナルの同定と幹細胞維持の解析	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
天疱瘡抗原に対する中枢性、末梢性免疫寛容機構の解明	天谷雅行	医学部臨床教室	38,480,000 円	補 ○ 文部科学省 委
D-セリン/ラセメース系による形態形成調節機構の包括的検討	相磯貞和	医学部基礎教室	16,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸管マクロファージの免疫恒常性維持への寄与とクローン病におけるその破綻機構の解明	日比紀文	医学部臨床教室	17,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心不全における交感神経機能の可塑性に関する研究	福田恵一	医学部臨床教室	13,260,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	森川康英	医学部臨床教室	9,490,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗酸化物質による加齢性難聴の予防 前向きコホートデザインによる栄養疫学研究	西脇祐司	医学部基礎教室	5,980,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アクアポリン4の蛋白複合体とアレイ構造による機能制御に関する研究	安井正人	医学部基礎教室	5,330,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レポーター遺伝子導入による間葉系幹細胞の未分化性維持と分化様式の解明	松崎有未	医学部総合医科学研究センター	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
G蛋白共役型受容体GPR49/LGR5のヒト組織並びに疾患における発現・機能解析	坂元亨宇	医学部基礎教室	7,930,000 円	補 ○ 文部科学省 委
地域在住高齢者の視覚障害予防: 追跡研究による死亡及び介護状態との関連	武林亨	医学部基礎教室	6,110,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内因性I型インターフェロン産生細胞を介した漢方薬の感染防御機構の研究	渡辺賢治	医学部クラスター部門	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫系リセットによる炎症性腸疾患の画期的根治療法の開発	金井隆典	医学部臨床教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
最適化された細胞外環境を用いた心筋細胞移植法の確立	牧野伸司	医学部総合医科学研究センター	4,940,000 円	補 ○ 文部科学省 委
セルメタボリズムの心血管内分泌代謝学的解析とメタボリックシンドローム包括医療応用	伊藤裕	医学部臨床教室	5,980,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症の病態における骨髄由来細胞の役割の解明	桑名正隆	医学部臨床教室	5,590,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TACEの骨代謝・造血系における機能解析	堀内圭輔	医学部総合医科学研究センター	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨細胞・骨芽細胞・骨細胞の連関による骨リモデリング解明	松尾光一	医学部共同利用研究室	6,760,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
脊髄損傷に対する人工多能性幹細胞由来神経幹細胞移植の確立	中村雅也	医学部臨床教室	7,020,000 円	補 ○ 文部科学省 委
微小環境と臓器特異的転移に着目した腎細胞癌の発がん・進展のメカニズムの解明	大家基嗣	医学部臨床教室	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト卵巣凍結の臨床応用に向けた基礎的検討～手術および凍結の技術革新～	久慈直昭	医学部臨床教室	4,290,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性期重症患者擬似モデルにおける高血糖惹起性腸内細菌動態と対応策	森崎浩	医学部臨床教室	3,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発生過程の大脳皮質において、脳室下帯が形成される意義	田畑秀典	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
代謝解剖学的アプローチによるガス分子受容・生成系を標的とした脳血流制御機構の解明	梶村眞弓	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス網膜臨界期に形成されるプリン受容体神経回路	金田誠	医学部基礎教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性胸郭変形症に対する矯正手術における、術後形態予測システムの開発	永竿智久	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管内皮増殖因子受容体に対する低分子量基底膜蛋白質AZ-1の阻害機構	向井邦晃	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規糖鎖制御遺伝子による糖転移酵素mRNAの制御メカニズム	後藤聡	医学部総合医科学研究センター	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委
バイオイメージングを用いた癌細胞由来ADAM28の生体内機能解析	望月早月	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換癌細胞の骨髄集積による全身性免疫抑制機構の解明	工藤千恵	医学部附属先端医科学研究	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
オリゴDNAアレイCGH法による25種の先天異常症候群の遺伝子内欠失の網羅的解析	小崎健次郎	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超高齢期における慢性腎臓病のバイオマーカーと臨床的意義の検討	新井康通	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病の病態における細胞内寄生細菌に対するオートファジー機能異常の重要性	井上詠	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
炎症性腸疾患の自然免疫から獲得免疫異常への連鎖におけるIL-23の役割	齋藤理子	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
難治性炎症性肺疾患の病態におけるPGD2/CRTH2経路を介した免疫制御機構	浅野浩一郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
尿細管再生機構の解明とES細胞、iPS細胞から尿細管細胞への分化誘導の試み	門川俊明	医学部医学教育統轄センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス局所脳虚血モデルへの神経堤由来細胞移植の効果の検討	富田裕	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト皮下脂肪組織からの新規分化誘導法による血小板産生	松原由美子	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
多発性筋炎/皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎の病態解析と新規治療に関する研究	亀田秀人	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
関節リウマチの病態を促進する単球と抑制する単球の解析	瀬田範行	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
胎内プログラミングによる腎発育異常におけるmTOR経路の役割	飛弾麻里子	医学部	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝子改変メダカを用いた悪性黒色腫モデル系の構築	松崎ゆり子	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性黒色腫シグナル伝達異常による免疫療法抵抗性の解明と克服法の開発	桜井敏晴	医学部附属先端医科学研究所	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
毛髪を成長・維持させる重要遺伝子のノックダウンマウス作製による網羅的同定	渋谷和憲	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
PET/CTを用いた分肝機能評価法の確立に対する研究	村上康二	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
生体内反応で発生する代謝活性ラジカルを利用した低酸素細胞増感剤の開発と臨床応用	茂松直之	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
臓器移植におけるB細胞制御による免疫寛容の誘導	瀧本康史	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌ネオアジュバント症例を用いた化学療法前後におけるALDH陽性癌幹細胞の推移	高橋麻衣子	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
食道癌におけるケモカインネットワークを標的とした新しい癌治療法の開発	竹内裕也	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HMGB-1制御による劇症肝不全に対する新治療法の開発	田辺稔	医学部	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エイジングによる肝再生能の変化と肝幹細胞の役割—肝移植の知見に基づく基礎的検討	河地茂行	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌治療戦略におけるヘパリンとNF-κB阻害剤の役割と抗癌剤増強作用に関する検討	相浦浩一	医学部クラスター部門	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
悪性腫瘍における酸素代謝の解析と腫瘍酸素加による治療効果増強機構の解明	堀之内宏久	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
種々の生体適合性ゲル化物質を足場材料に用いたマウス肺組織移植モデル	澤藤誠	医学部	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
キレート硬化型骨セメントをスキヤフォールドとした再生骨の脊椎固定術への応用	松本守雄	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
インターロイキン32の炎症性関節炎における役割と治療標的分子としての可能性	二木康夫	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙(ニコチン)による胎児・小児の骨軟骨成長障害に関する研究	佐藤和毅	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
拡散強調MRスペクトラムによるCRPSモデルでの末梢浮腫発生メカニズムの解明	中村俊康	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト着床におけるカドヘリンを介した子宮内膜腺上皮細胞層の再構築機序の解明	内田浩	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
哺乳類初期発生におけるリンカーヒストンとクロマチンのエピジェネティクス機構の解明	田中守	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜症病態メカニズムに関与するリポキシゲナーゼ経路関連因子の解析	山崎彰子	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮癌での上皮—間葉転換による免疫抑制環境構築の分子機構解明とその臨床応用	藤田知信	医学部附属先端医科学研究所	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
婦人科癌転移の糖鎖機能解析と認識糖鎖抗原に対する新規ヒトモノクローナル抗体の開発	鈴木淳	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
喫煙による涙腺・眼表面ダメージのメカニズム解明	村戸ドール	医学部	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SOD1ノックアウトマウスを用いたドライアイ発症における上皮間葉移行の検討	根岸一乃	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
酸素濃度による角膜幹細胞の分化・増殖制御機構の解明	榛村重人	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
再生に向けたヒト人工多能性幹細胞を用いた網膜変性疾患の病態解明	小沢洋子	医学部	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
女性慢性筋性顎関節症患者における中枢性筋収縮抑制不全と下行抑制系機能不全の検証	和嶋浩一	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系幹細胞—光硬化型ゼラチン複合体を用いた新規組織再生療法の確立	中川種昭	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
蛍光蛋白トランスジェニックマウスを利用した神経新生関連遺伝子の同定	神吉浩明	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抑制性神経細胞の大脳皮質内への分配の制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	1,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
実験用魚類の遺伝子破壊低コスト化のための変異濃縮技術の開発	谷口善仁	医学部基礎教室	900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
磁場による蛋白質の極性制御とその活用	宮内素行	医学部基礎教室	1,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
NASHの発症機序に於けるHIF-1の関与	福田亮	医学部基礎教室	900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
IPS細胞・間葉系幹細胞からの色素細胞と悪性黒色腫の作成と発現分子の臨床応用	河上裕	医学部附属先端医科学研究	1,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非接着培養による細胞老化の制御	貴志和生	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委
遺伝性乳がんの予防・早期発見、管理をめざす統合的ケアプラットフォーム	小松浩子	看護医療学部	1,200,000 円	補 ○ 文部科学省 委
人工幹細胞ニッチ:造血ニッチ複合体の再構成による幹細胞増幅	新井文用	医学部坂口光洋記念講座	20,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨を中心としたネットワーク医学の統合的理解	竹田秀	医学部寄附講座	23,010,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞ニッチの同定とアンカリングポイントの解析	永尾圭介	医学部臨床教室	8,450,000 円	補 ○ 文部科学省 委
加齢と骨代謝制御	宮本健史	医学部総合医科学研究センター	8,190,000 円	補 ○ 文部科学省 委
創傷治癒血管新生の「質」を規定するメカニズムの解析	久保田義頭	医学部総合医科学研究センター	4,420,000 円	補 ○ 文部科学省 委
移動終了後の大脳皮質ニューロンにおける分化・成熟過程の解明	大石康二	医学部基礎教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
COUP-TFI及びIIを標的とした神経幹細胞の時間特異性制御機構の解明	仲勇人	医学部基礎教室	650,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
RNA結合蛋白質Musashi1が介するmiRNA翻訳制御	河原裕憲	医学部基礎教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
Reelin-Dab1シグナルによる樹状突起の形成とガイダンス機構の解明	本田岳夫	医学部基礎教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
RNA結合蛋白質Musashi1によるlet-7機能発現阻害の分子機構解明	今井貴雄	医学部基礎教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いた線内障再生医療の開発	吉田哲	医学部総合医科学研究センター	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
脳波筋電図コヒーレンス解析法を用いて四肢の運動制御機構を解明する	牛山潤一	医学部臨床教室	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
生殖細胞特異的piRNAの生合成機構	齋藤都暁	医学部基礎教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
多能性幹細胞および組織幹細胞におけるnucleosteminの機能解析	永松剛	医学部坂口光洋記念講座	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
DNA損傷応答因子Rassfcの機能解析	中村貴	医学部基礎教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
メロニダゾール耐性H. pyloriの酸化ストレス感受性異常の分子機序	津川仁	医学部総合医科学研究センター	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト間葉系幹細胞の水溶性スタチンによる活性化—心臓再生医療での役割	中溝ひかる	医学部	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
「イオンチャンネル」型グルタミン酸受容体のチャネル活動非依存性機能の解明	掛川涉	医学部基礎教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト間葉系幹細胞のピオグリタゾンによる活性化—心筋再生医療での役割	新村大輔	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
癌抑制遺伝子Rbの上皮細胞における機能と癌の浸潤・転移機構の解析	有馬好美	医学部附属先端医学研究所	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAを標的とした胃がんに対するエピジェネティック治療	齋藤義正	薬学部	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
がん細胞浸潤突起の形成と退縮の分子機構	白壁恭子	医学部総合医科学研究センター	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
軟骨下骨組織の改築とRECK分子に着目したヒト変形性関節症の病態解析	木村徳宏	医学部基礎教室	2,210,000円	補 ○ 文部科学省 委
腎細胞癌における上皮—間葉転換の分子機構	三上修治	医学部中央診療施設等	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト肝癌増殖・転移モデルを用いた分子標的治療薬の機能解明	杜ぶん林	医学部	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
NURR1が関与するパーキンソン病発症機序におけるSGSMファミリーの役割の解明	楊浩	先端研究センター	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
腸管病原性大腸菌の定着機構と粘膜免疫系の解析および腸管再構築感染モデルの検討	永井武	医学部基礎教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
ダイオキシンレセプターによる獲得免疫および自然免疫反応の制御機構の解明	木村彰宏	医学部基礎教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
Helicobacter pylori胃炎発症の制御に関わるヘルパーT細胞の役割	永井重徳	医学部基礎教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
先天性肝内胆汁うっ滞症の包括的遺伝子診断システムの構築	鳥居千春	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腫瘍浸潤筋線維芽細胞による癌幹細胞stemness維持機構に関する研究	足立雅之	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
多能性幹細胞の心室筋・心房筋分化メカニズムの解析	田中智文	医学部	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピジェネティック解析技術を用いた心不全の病態解明と新規治療法の確立	金田るり	医学部坂口光洋記念講座	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
致死性不整脈の分子生物学的、電気生理学的検討	相澤義泰	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
拡張型心筋症の病態生理の解明—CD45シグナリングの心室リモデリングへの関与	前川裕一郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
冠動脈インターベンションの国際比較と質的向上を目指したデータベース構築	香坂俊	医学部寄附講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚バリア機能障害と喘息発症との関連	若木美佐	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アポトーシス細胞食の肺気腫病因への関与の検討	峰松直人	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
移植に適したヒトES・iPS細胞由来内皮作成と腎不全進行に対する新規治療法の開発	本間康一郎	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肥満高血圧におけるプロレリンを介したインスリン抵抗性発生機序の解明	釜范正	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
筋萎縮性側索硬化症におけるTDP-43蓄積機序の解明と治療応用の検討	西本祥仁	医学部基礎教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者iPS細胞より分化したドーパミンニューロンの純化と機能の解析	吉崎崇仁	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝内免疫細胞を標的とした糖尿病、メボリックシンドローム治療法の開発	入江潤一郎	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管ホルモンによる細胞代謝制御のメボリックシンドロームと加齢における意義	宮下和季	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ジヒドロピリジン系Ca拮抗薬のミネラルコルチコイド受容体拮抗作用に関する検討	栗原勲	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄抑制ストレス時の生体防御機構の解明	宮本佳奈	医学部総合医科学研究センター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血器腫瘍のリプログラミング治療	松木絵里	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HIF-1/VHL制御系による造血幹細胞維持機構の解明と幹細胞増幅	田久保圭誉	医学部坂口光洋記念講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫性血小板減少性紫斑病の新規マウスモデル作製とそれを用いた免疫病態評価	西本哲也	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
線維化における炎症性細胞の役割	安岡秀剛	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
AIRE発現細胞株を用いた自己抗原遺伝子の制御機構の解析	山口良考	先導研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
ヒトパルボウイルスB19による樹状細胞機能異常を標的とした関節リウマチ治療法開発	高橋令子	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心臓・大血管発生におけるイノシトール三リン酸受容体の組織特異的機能の解明	内田敬子	医学部	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
読字障害の責任遺伝子の特定:Williams症候群をモデルとして	柳橋達彦	医学部臨床教室	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
甲状腺発生異常におけるゲノムワイドCopy Number Variation解析	鳴海寛志	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ダウン症における心奇形発症の原因遺伝子の同定	宮本憲一	医学部共同利用研究室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト造血化したマウスにおける白血病幹細胞ニッチ解析	嶋晴子	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳新皮質形成期における脳室下帯特異的発現遺伝子の機能解析	荒巻道彦	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
低酸素性虚血性脳症における神経細胞の樹状突起に発現する電位依存性チャネルの制御	有光威志	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺胞上皮細胞におけるABCA3トランスポータとイオンチャネルの機能連関の検討	松崎陽平	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Aireによる天疱瘡標的抗原に対する免疫寛容機序の解明	和田直子	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚樹状細胞の形態および接着分子の解析	大内健嗣	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
フィラグリン変異マウスを用いた新規アトピー性皮膚炎マウスモデルの作製	川崎洋	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
デスモグレイン3-GFP遺伝子組み換えマウスを用いた天疱瘡病態機序の検討	吉田和恵	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
レトロウィルスベクターを用いた自己免疫性水疱症の病態解明	河野通良	医学部	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌に対する妊孕性保持可能な放射線療法の開発	菅原章友	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
前立腺癌小線源治療における尿道線量リアルタイムモニタリングと有害事象の予測	大橋俊夫	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
面積線量計を用いたIMRT吸収線量測定	奥洋平	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺悪性腫瘍に対する凍結融解療法の成績向上、普及に向けて:至適条件の解明と臨床応用	井上政則	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌における分子標的治療薬と放射線併用療法	白石悠	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規EMT誘導因子HOXB9による乳癌悪性化および癌幹細胞群増加メカニズムの検証	林田哲	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
HMGB-1制御による肝虚血再灌流障害抑制法の開発と肝移植への応用	篠田昌宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
iPS技術を応用した人工癌幹細胞(iCaPS細胞)の樹立及び機能解析	福田和正	医学部寄附講座	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
自作ゲノムアレイによる癌関連遺伝子群の抽出と診断法の確立	村山裕治	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規グリオーマ幹細胞増殖因子の同定	高橋里史	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト悪性脳腫瘍癌幹細胞におけるMusashi1の機能制御の解析と抗腫瘍効果の解明	武藤淳	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写抑制因子による破骨細胞分化制御	宮内芳輝	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨細胞分化における抑制性シグナル因子の機能解析	日方智宏	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腰椎部傍脊柱筋の手術侵襲に起因する筋変性・再生に関する組織学的検討	渡邊航太	医学部寄附講座	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨軟部腫瘍におけるCD44およびADAM17の発現および機能解析	中山タラント ロバート	医学部	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES細胞由来神経幹細胞による脊髄損傷治療法の確立	高橋勇一朗	医学部総合医科学研究 センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
精子幹細胞における、多能性幹細胞性維持のメカニズムの解明	小坂威雄	医学部総合医科学研究 センター	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
paclitaxel封入EGF結合MPC polymerによる膀胱癌治療効果	田村高越	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌に対するTS-1単独及びTS遺伝子導入併用による抗腫瘍効果の増強	井手広樹	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
耳小骨の骨形成と骨吸収に関する検討	神崎晶	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
頭頸部癌特異的なマイクロRNAの解析と治療標的としての可能性	稲垣康治	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
角膜輪部上皮のニッシュにおけるエヌカドヘリンの役割	比嘉一成	医学部	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
Semaphorin3A阻害薬による角膜の神経再生	大本雅弘	医学部総合医科学研究 センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カロリー制限ラットにおける涙液分泌能維持機構の解明	川北哲也	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
緑内障性視神経症におけるsuperoxide dismutase1の関与	尾関直毅	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
消化管運動障害に対するカハールの介在細胞の再生医療	森昌玄	医学部臨床教室	1,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒルシュスプルング病の神経堤幹細胞移植治療に必要とされるニッチ因子の研究	西川竜平	医学部総合医科学研究 センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ケロイド・肥厚性瘢痕発生原因の力学的解明と臨床治療への応用	宮本純平	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス胎仔創傷治療における炎症反応の解析	岡部圭介	医学部総合医科学研究 センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
非接着培養によるヒト線維芽細胞の毛包誘導	清水瑠加	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
マウス成体間葉系幹細胞由来の新規高品質iPS細胞の樹立	河村佳見	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内在性電場変化による間葉系幹細胞のInVivo遊走制御	馬淵洋	医学部寄附講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症におけるγグロブリン大量療法の有効性に関する検討	吉川貴久	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
外傷・熱傷患者でのプロテインアレイを用いた白血球表面抗原の解析と感染症の予知	関根和彦	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
熱傷後敗血症性肺障害モデルにおけるHMGB1の動態の解明	安倍晋也	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性呼吸促進症候群におけるインターロイキン17の動態解析と新規治療薬の開発	宮木大	医学部臨床教室	910,000 円	補 ○ 文部科学省 委
破骨細胞融合の骨代謝における役割の解明	岩崎良太郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
口腔扁平上皮癌幹細胞の同定と癌血管新生機序の解明	森川暁	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳死下あるいは心停止後臓器提供を行なったドナー家族の体験	高田幸江	看護医療学部	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経突起形成におけるオートファジー関連タンパクAtg8ホモログの機能解析	西山潤	医学部総合医科学研究センター	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
研究者と公衆の間に存在するiPS細胞に対する認識の差異の研究	八代嘉美	医学部総合医科学研究センター	1,196,000 円	補 ○ 文部科学省 委
RNAサイレンシング因子による微小管・中心体形成機構の解明	佐藤薫	医学部基礎教室	923,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脱ユビキチン化酵素によるDNA損傷応答抑制機構の解明	中田慎一郎	医学部総合医科学研究センター	1,313,000 円	補 ○ 文部科学省 委
がん微小環境における間質細胞・間葉系幹細胞による免疫抑制機構の解明と克服法の開発	谷口智憲	医学部附属先端医科学研究所	1,261,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス板間静脈の発達における骨代謝と血管新生の相関	鳥海春樹	医学部総合医科学研究センター	1,157,000 円	補 ○ 文部科学省 委
分化相において細胞周期関連分子が正常脳形成および病態脳への変換に果たす役割の解明	川内健史	医学部基礎教室	2,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自己類似腸内細菌フローラに対する免疫寛容とその破綻による炎症性腸疾患発症解明	金井隆典	医学部臨床教室	4,700,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ROR $\gamma$ t, SMAD2/3転写共役因子複合体精製と機能解析	高田伊知郎	医学部基礎教室	4,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
動いて脳を作る細胞群の動態制御機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	36,920,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる骨代謝調節の分子基盤	竹田秀	医学部寄附講座	4,680,000 円	補 ○ 文部科学省 委
自然炎症を制御するTRAF6シグナルの分子機構の解明と内因性リガンドの同定	小林隆志	医学部総合医科学研究センター	4,550,000 円	補 ○ 文部科学省 委
発生期網膜における血管先端細胞と神経系細胞のクロストーク	久保田義頭	医学部総合医科学研究センター	24,180,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
幹細胞から神経・グリアへの分化機構解明	島崎琢也	医学部基礎教室	39,130,000円	補 ○ 文部科学省 委
ニッチによるがん幹細胞制御機構の解析	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	40,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
人工癌幹細胞を用いた治療抵抗性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	40,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
新たに発見した"ナチュラルヘルパー細胞"の機構解明	小安重夫	医学部基礎教室	43,550,000円	補 ○ 文部科学省 委
ニッチによる幹細胞の運命制御	須田年生	医学部坂口光洋記念講座	44,200,000円	補 ○ 文部科学省 委
中枢神経系における神経細胞社会の構築機構	仲嶋一範	医学部基礎教室	13,650,000円	補 ○ 文部科学省 委
サイトカインによる炎症と抗炎症のバランス制御機構の解明	吉村昭彦	医学部基礎教室	20,930,000円	補 ○ 文部科学省 委
寄生虫感染防御におけるナチュラルヘルパー細胞の機能解明	小安重夫	医学部基礎教室	17,680,000円	補 ○ 文部科学省 委
ランゲルハンス細胞と表皮タイトジャンクションによる動的表皮免疫バリア機構の解析	久保亮治	医学部総合医科学研究センター	17,810,000円	補 ○ 文部科学省 委
能動集積性を有する医工融合型ナノ粒子による外科疾患新診断法・低侵襲治療法の開発	上田政和	医学部臨床教室	15,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
グリオブラストーマ癌幹細胞モデルを用いた薬剤抵抗性及び浸潤性克服戦略の開発	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	20,670,000円	補 ○ 文部科学省 委
アパタイトナノキャリアを用いた胃癌のマイクロRNA治療の開発	鈴木秀和	医学部臨床教室	7,280,000円	補 ○ 文部科学省 委
姿勢制御の学習能力評価の標準化と運動療法への応用	長谷公隆	医学部臨床教室	9,490,000円	補 ○ 文部科学省 委
プラナリアの有性化を誘導するD体トリプトファン作用機構の解明	小林一也	医学部総合医科学研究センター	7,540,000円	補 ○ 文部科学省 委
系球体上皮細胞の加齢におけるATP6AP2/(プロ)レニン受容体の機能と標的治療	市原淳弘	医学部寄附講座	8,190,000円	補 ○ 文部科学省 委
片頭痛前兆大脳皮質拡張性抑制が神経障害性疼痛を惹起する脳可塑性と疼痛制御系の解明	鈴木則宏	医学部臨床教室	13,130,000円	補 ○ 文部科学省 委
心臓流出路を形成する細胞の発生分化と相互作用を制御する分子機構	山岸敬幸	医学部臨床教室	7,930,000円	補 ○ 文部科学省 委
新しい質量分析イメージング法を用いた消化器癌リンパ節転移最初期に生じる現象の解明	北川雄光	医学部臨床教室	6,110,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト幹細胞培養システムを基盤とした小児重症心不全に対する新規治療法の構築	饒庭了	医学部臨床教室	3,120,000円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞における幹細胞性制御因子の解析	戸田正博	医学部臨床教室	7,150,000円	補 ○ 文部科学省 委
生命始動と分化全能性獲得の遺伝子カスケード	浜谷敏生	医学部臨床教室	8,710,000円	補 ○ 文部科学省 委
機能的スクリーニング法を用いた子宮体癌関連マイクロRNAの探索と核酸医薬への応用	青木大輔	医学部臨床教室	9,230,000円	補 ○ 文部科学省 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
ドライアイの疾患メカニズムの解明	坪田一男	医学部臨床教室	8,710,000 円	補 ○ 文部科学省 委
培養ヒト線維芽細胞・表皮角化細胞を用いた毛包再生	貴志和生	医学部臨床教室	7,150,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者・家族を対象とした精神看護介入のニーズ分析とプロトコール開発	野末聖香	看護医療学部	4,030,000 円	補 ○ 文部科学省 委
神経幹細胞の組織特異的な初期化	島崎琢也	医学部基礎教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
癌細胞上のILT7/NKp44/BDCA2リガンド発現による免疫抑制機構の解明	塚本信夫	医学部附属先端医科学研究所	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
顕微質量分析法による代謝物分布情報に基づく腫瘍不均一性の検証	涌井昌俊	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
染色体ベクターによるゲノム解析法の確立	池野正史	医学部共同利用研究室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
スペシャル・ポピュレーションに対する抗がん剤の至適投与量・用量調節指標の探索	今村知世	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ATP加水分解スイッチ仮説に立脚したABCトランスポータ駆動メカニズムの解明	相馬義郎	医学部基礎教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
システイン生成系破綻により発症する急性筋萎縮症の病態解明とその制御法創出	石井功	薬学部	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
皮膚リーシュマニア感染モデルを用いた宿主microRNAシステムの機能解析	田邊將信	信濃町	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
イムノグロブリンクラススイッチにおけるPI3Kによる制御機構の解析	藤猪秀樹	信濃町	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
SOCS1による濾胞性ヘルパーT細胞の分化及び機能制御の解明	森田林平	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローン病における好中球殺菌機構の解析	松岡克善	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肝臓-腸管自然免疫細胞サーキュラーの破綻による自己免疫性肝臓炎症の本体	中本伸宏	医学部臨床教室	2,600,000 円	補 ○ 文部科学省 委
超拡大内視鏡によるリアルタイム炎症性腸疾患診断への挑戦	緒方晴彦	医学部クラスター部門	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト人工多能性幹細胞を用いた心筋分化メカニズムの解明および細胞移植療法への最適化	村田光繁	医学部臨床教室	2,860,000 円	補 ○ 文部科学省 委
カロリー制限によるミトコンドリア機能制御機構の解明	新村健	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
染色体転座スクリーニングによる非小細胞肺癌における新規標的分子の同定	副島研造	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
肺線維症における抗炎症性脂質メディエーターの有用性とその役割	福永興孝	医学部寄附講座	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
急性呼吸不全における低分子G蛋白Rap1の役割と治療応用の可能性	田坂定智	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームにおける腎臓脂肪関連の解明	徳山博文	医学部臨床教室	3,380,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
時間・代謝制御に基づく腎臓病および高血圧の治療戦略	林晃一	医学部臨床教室	2,600,000円	補 ○ 文部科学省 委
アクアポリン4ノックアウトマウスを用いた新規視神経脊髄炎モデルの作製とその解析	阿部陽一郎	医学部基礎教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
1型糖尿病発症を制御するHybrid Tregの同定	島田朗	医学部臨床教室	2,860,000円	補 ○ 文部科学省 委
翻訳リボソーム親和精製法による弓状核におけるインスリンシグナルの標的遺伝子の同定	中江淳	医学部寄附講座	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
脂肪細胞肥大化に伴う伸展刺激とRho/Rhoキナーゼ経路の肥満発症における意義	脇野修	医学部臨床教室	2,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
ミネラルコルチコイド受容体関連高血圧の分子病態の解明と新規治療法の確立	柴田洋孝	医学部臨床教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
骨髄腫幹細胞の同定と機能解析	宮川義隆	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
RIAM欠損血小板を用いたインテグリン活性化の分子機構の解明	渡邊直英	医学部クラスター部門	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
シェーグレン症候群新規治療薬としてのBAFFシグナル阻害物質の探索	吉本桂子	医学部臨床教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
ラッセル・シルバー症候群におけるエピジェネティック機構の解明	吉橋博史	信濃町	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
リン酸化プロテオーム解析による白血病細胞のリン酸化異常の解明および治療への応用	嶋田博之	医学部臨床教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
心臓・四肢発生におけるHand遺伝子の組織特異的相補性	前田潤	医学部臨床教室	1,170,000円	補 ○ 文部科学省 委
肝、腎、副腎、軟部組織、骨における凍結治療時の温度変化と病理変化の研究	中塚誠之	医学部臨床教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
放射線抵抗性静止期癌細胞の損傷修復遺伝子抑制による新たな治療方法の開発	川口修	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
乳癌における内分泌治療耐性機序の解明とその臨床応用	神野浩光	医学部臨床教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
胃癌における上皮間葉移行(EMT)の解析による治療応用	和田則仁	医学部臨床教室	1,300,000円	補 ○ 文部科学省 委
高機能磁性ナノ粒子を用いた大腸癌に対する高感度高効率診断・検診法の開発	長谷川博俊	医学部臨床教室	2,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌における低酸素トレーサーFAZA集積領域の臨床腫瘍生物学的解析	泉陽太郎	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヘモグロビン小胞体を用いたドナー肺の機能改善及び評価、保存	河野光智	医学部臨床教室	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
神経膠腫における個別化治療の確立(特に術前化学療法への適応について)	吉田一成	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
腰椎椎間板変性の原因解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究	千葉一裕	医学部臨床教室	2,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト骨髄由来破骨細胞前駆細胞の同定、及び細胞株の樹立	古川満	医学部臨床教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
ホルモン不応性前立腺癌における、微小環境に着目したマイクロRNAの機能解析	宮嶋哲	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
卵巣選択的プロテアーゼ"Prss35"の酵素特性と霊長類の卵巣内発現に関する検討	宮越敬	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
単一細胞遺伝子増幅とcDNA再利用定量PCRを用いた卵子形成過程の遺伝子発現解析	持丸佳之	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞アレイによる卵巣癌抗癌剤効果予測システムの構築と分子標的薬の探索	津田浩史	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
エピジェネティックに制御される遺伝子を標的とした子宮体癌に対するRNA医薬	阪埜浩司	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮内膜癌に頻発するMMR機構異常に伴う腫瘍免疫変化と抗癌剤ホルモン剤感受性変化	進伸幸	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
EMT(上皮間葉転換)を誘導する分子機構を標的とした頭頸部癌転移治療の研究	今西順久	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
疾患特異的マイクロRNAを治療標的とした頭頸部癌の新規治療戦略	齋藤康一郎	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病モデルマウスにおける抗酸化物質ルテインによる網膜神経保護効果の解析	佐々木真理子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ケラチン12-蛍光タンパク質レポーターを用いた角膜上皮細胞への運命決定機構の解析	吉田悟	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換および幹細胞関連分子発現プロファイルに基づく口腔扁平上皮癌の新分類	筋生田整治	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
慢性疼痛に関わる感覚神経のネットワーク形成メカニズムの解明と治療法開発	芝田晋介	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
無性プラナリアに生殖器官を誘導するケミカルシグナルの研究	前澤孝信	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
上皮間葉転換可視化システムを用いた癌浸潤転移阻害化合物スクリーニング	佐谷秀行	医学部附属先端医学研究所	3,100,000 円	補 ○ 文部科学省 委
がんのメタボロームに着目した抗がん剤耐性克服へのアプローチ	西牟田章戸	医学部臨床教室	1,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
特異抗体結合フェライトスーパービーズによる免疫標的療法の創成	日比紀文	医学部臨床教室	2,900,000 円	補 ○ 文部科学省 委
包括的ストレス応答の心臓における病態生理学的意義の検討	佐野元昭	医学部臨床教室	1,800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
抗アポトーシス作用を持つ新規心筋転写因子の機能解析	福田恵一	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心血管ホルモンによる血管老化制御のES/iPS細胞とオミクス技術を用いた解明	伊藤裕	医学部臨床教室	3,000,000 円	補 ○ 文部科学省 委
実質組織内の微量癌細胞の検出のための末梢血循環腫瘍細胞検出システムの応用	野守裕明	医学部臨床教室	1,100,000 円	補 ○ 文部科学省 委
免疫寛容破壊による自己免疫性難聴トランスジェニックマウスモデルの樹立とその解析	小川郁	医学部臨床教室	800,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ドライアイ疾患における性差の分子メカニズム	坪田一男	医学部臨床教室	1,500,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
新たなリンパ球ナチュラルヘルパー細胞の寄生虫排除機構における役割	茂呂和世	医学部総合医科学研究センター	14,040,000 円	補 ○ 文部科学省 委
転写因子を用いた心筋細胞分化誘導方法の開発	湯浅慎介	医学部総合医科学研究センター	8,970,000 円	補 ○ 文部科学省 委
アストロサイトによるin vivoケトン体合成機構の解明	中原仁	医学部総合医科学研究センター	8,970,000 円	補 ○ 文部科学省 委
骨組織におけるRNAヘリカーゼp68の機能解明	福田亨	医学部臨床教室	9,750,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄損傷後の反応性アストロサイトの移動性獲得メカニズム	ルノー三原フ ランソフ	医学部	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞内輸送機構による神経機能の制御	松田信爾	医学部基礎教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
大脳新皮質の系統発生メカニズムの解明	田中大介	医学部基礎教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
蛍光+発光+MRIプローブで体内の神経を可視化し神経損傷の効果的治療法を開発する	原央子	医学部基礎教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
熱ショックプロモーターによる筋分化調節因子の強制発現と再生分化誘導	清水厚志	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新しい内視鏡の応用・心臓内視鏡を用いた心不全治療の開発と最適化	木村雄弘	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームを合併した2型糖尿病患者における運動療法の体組成への影響	東宏一郎	医学部クラスター部門	1,300,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト人工がん幹細胞の樹立と悪性脳腫瘍モデルの構築	大西伸幸	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
間葉系悪性腫瘍(骨肉腫)の未分化性維持に関わる微小環境の解明	清水孝恒	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
炎症性乳癌の可塑性に関わる分子機構解析と標的治療開発	甲斐千晴	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素によるメチル化シグナルを介した新しい糖代謝リモデリング機構の解明	山本雄広	医学部基礎教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内在性小分子esiRNA機能にかかわる核内外輸送機構の役割	三好啓太	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
一酸化炭素によるタンパク質メチル化修飾を介した糖代謝制御と細胞機能制御の解明	高野直治	医学部基礎教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
システイン合成系破綻動物を用いた腎尿管機能に及ぼす含硫アミノ酸代謝の役割の解明	赤星軌征	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
接着分子CD44による癌細胞糖代謝制御機構の解明とその阻害に基づく癌治療薬の開発	永野修	医学部附属先端医科学研究所	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
小児急性骨髄性白血病におけるMLL遺伝子縦列部分重複の機能解析と分子標的治療	林睦	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
うつ病に対する認知行動療法の費用対効果および財政的インパクトに関する研究	佐渡充洋	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
伊豆大島におけるインフルエンザ疫学調査とワクチン効果分析	齋藤智也	医学部基礎教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
心房細動における自律神経の薬理学的修飾	元田博之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
クローナルコンペティションによる炎症性腸疾患の病態解明と新規治療法の開発	三上洋平	医学部総合医科学研究センター	2,990,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腸管NK細胞の炎症性腸疾患への関与の解明及び細胞集団の移行性の検討	高山哲朗	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膵臓癌株化細胞におけるTGF誘導Leftyの発現機序及び機能解析	宮田直輝	医学部臨床教室	1,170,000 円	補 ○ 文部科学省 委
化学療法抵抗性大腸癌におけるCDX2およびテロシンキナーゼの相関とメカニズム	船越信介	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋特異的(プロ)レニン受容体欠損により発症する心筋症の病態解明と標的治療の開発	木内謙一郎	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性QT延長症候群の疾患特異的iPS細胞の樹立および実験系の構築	関倫久	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
患者iPS細胞を用いた肥大型心筋症の病態解析	江頭徹	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス心臓移植モデルを用いた内因性心臓交感神経刺激細胞の役割と病態生理の解析	田村雄一	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
血管平滑筋特異的(プロ)レニン受容体欠損が起こす著名な血管繊維化発症機構の解明	三戸麻子	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
心筋細胞分化の段階的DNAメチル化プロファイリングと幹細胞分化能評価ツールの開発	小田真由美	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトES及びiPS由来心筋細胞の電気的な成熟過程とその分子機構の解明	遠山周吾	医学部総合医科学研究センター	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
近位尿管特異的SIRT1過剰発現マウスの慢性腎臓病抑制効果の検証	長谷川一宏	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腹膜障害の診断、治療戦略としてのiPS細胞由来の腹膜中皮細胞の分化誘導法の樹立	鷲田直輝	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脳虚血における分泌型白血球ペプチダーゼ阻害物質(SLPI)の役割	安部貴人	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
異性体セリン混入異常タンパク質に注目した筋萎縮性側索硬化症の新規治療標的の開発	笹部潤平	医学部基礎教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内臓脂肪リモデリング・インスリン抵抗性におけるヒトC反応蛋白及びTACEの役割	金子英弘	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
細胞周期制御分子Cdh1の造血器特異的不活化による細胞分化制御機構の解明	石澤丈	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
造血幹細胞の単一細胞単位での非対称分裂機構の解析	細川健太郎	医学部総合医科学研究センター	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膠原病合併肺動脈性肺高血圧症における血管内皮前駆細胞の役割の解明	白井悠一郎	医学部総合医科学研究センター	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症におけるエピジェネティック制御機構の検討	石井誠	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
先天性下垂体機能低下症におけるゲノムワイドコピーナンバーバリエーション解析	高木優樹	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
肺高血圧症における肺血管内皮のイノシトール3リン酸受容体を介するシグナル伝達機構	古道一樹	医学部臨床教室	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
生体内神経前駆細胞におけるp27Kip1の核内移行メカニズムに関する研究	三橋隆行	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
iPS細胞を用いたPelizaeus-Merzbacher病の病態解明研究	黒岩佑子	医学部総合医科学研究センター	1,430,000円	補 ○ 文部科学省 委
G-CSFの幹細胞血液中動員作用による慢性肺疾患治療の為の基礎的検討	北東功	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
バルプロ酸ナトリウム胎内曝露が大脳皮質発生に与える影響に関する研究	下郷幸子	医学部臨床教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
表皮角質層・タイトジャンクションバリアの生成維持、制御メカニズムの解明	横内麻里子	医学部臨床教室	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
統合失調症治療における個別化された薬物治療モデルの確立に関する研究	内田裕之	医学部臨床教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
患者由来iPS細胞を用いた統合失調症分子基盤の解明	堀内泰江	医学部基礎教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
肝硬変に伴う脾腫による血小板減少症の放射線治療	酢谷真也	医学部臨床教室	2,600,000円	補 ○ 文部科学省 委
再生不良性貧血動物に対する間葉系幹細胞移植治療モデルの確立	鈴木禎史	医学部総合医科学研究センター	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞を間葉系幹細胞でコートした新規細胞球状体構造の作製と移植モデル有用性の検討	中村由紀	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
高機能性鉄ナノビーズを用いたセンチネルリンパ節に対する新しい診断・治療法の開発	大山隆史	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
高感度大腸癌腫瘍マーカーの開発	平田玲	医学部臨床教室	2,990,000円	補 ○ 文部科学省 委
HOXB9と血管新生因子耐性機構『evasive resistance』の関係	星野好則	医学部臨床教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
食道癌におけるCXCR2発現の臨床的意義の解明と新しい癌集学的治療法の開発	西知彦	医学部臨床教室	2,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
胃粘膜下腫瘍切除検体を用いた初代細胞の樹立と薬剤耐性機序の解明	迫裕之	医学部臨床教室	2,210,000円	補 ○ 文部科学省 委
ステント再狭窄を予防・再開通する温度制御可能な無侵襲・局所温熱治療システムの開発	藤崎洋人	医学部臨床教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
肺特異的遺伝子翻訳阻害モデルを用いた肺気腫の病態解明と治療開発	高橋祐介	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
悪性胸膜中皮腫に対するオートファジー誘導薬物療法の開発	朝倉啓介	医学部総合医科学研究センター	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
肺癌における組織低酸素イメージング所見と病理組織所見の比較検討	江間俊哉	医学部臨床教室	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
microRNAによる癌治療抵抗性機構の解明と悪性脳腫瘍の診断法・治療法の開発	植田良	医学部附属先端医科学研究所	2,600,000円	補 ○ 文部科学省 委
脳腫瘍幹細胞におけるMIFの機能解析	深谷雷太	医学部臨床教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
アルデヒド脱水素酵素遺伝子の変異による骨代謝の恒常性破綻機構の解明	星淡子	医学部臨床教室	2,730,000 円	補 ○ 文部科学省 委
再髄鞘化による脊髄の再生～細胞移植療法で得られる機能回復メカニズムの解明～	安田明正	医学部総合医科学研究センター	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脊髄損傷における自己修復機構の解明ー内在性シュワン細胞の寄与ー	名越慈人	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ephrinA2ーEphA2を介した細胞間相互作用による骨代謝回転制御の解明	入江奈緒子	医学部総合医科学研究センター	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
ブラジキニンB1 受容体ーシルフェラーゼマウスを用いた慢性疼痛のライブイメージング	辻取彦	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
q-spaceイメージングによる脊髄損傷メカニズムの解明	藤吉兼浩	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
TACEはTREM1のsheddingを介してmonocyteの活性を調節する	内川伸一	医学部総合医科学研究センター	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
脱ユビキチン化酵素による骨代謝調節の分子機構の解明	砂村聡子	医学部臨床教室	1,950,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マーマセットをモデルとした多能性幹細胞由来神経幹細胞による脊髄損傷前臨床研究	嶋田弘子	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌の発癌、再発、進展における芳香族炭化水素受容体発現の意義	石田勝	医学部臨床教室	2,210,000 円	補 ○ 文部科学省 委
膀胱癌における抗癌剤投与に伴う血管新生亢進の機序の解明	田中伸之	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス正所性前立腺癌骨転移モデルの作成	金井邦光	医学部臨床教室	1,560,000 円	補 ○ 文部科学省 委
腎癌肺転移における転移形成前の微小環境に着目した転移制御機構	金子剛	医学部臨床教室	1,820,000 円	補 ○ 文部科学省 委
マウス閉塞性水腎症に対する新規AP-1阻害剤による腎線維化の制御	前田高宏	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌の免疫抑制分子の同定と発現解析	平尾薫丸	医学部臨床教室	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
異所性子宮内膜症から卵巣明細胞癌および類内膜腺癌への悪性転化機構に関する検討	赤羽智子	医学部臨床教室	1,690,000 円	補 ○ 文部科学省 委
婦人科癌における免疫逃避機構の解明および新規解除方法の開発	西尾浩	医学部総合医科学研究センター	1,430,000 円	補 ○ 文部科学省 委
プロテオミクスによるヒト子宮内膜機能を担うシグナル分子群の探索	西川明花	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委
子宮体癌における間質ー腫瘍相互作用の臨床的意義の解明と新規分子標的の探索	片岡史夫	医学部臨床教室	3,120,000 円	補 ○ 文部科学省 委
聴覚障害における聴覚伝導路の可塑性に関する研究	南修司郎	医学部臨床教室	2,470,000 円	補 ○ 文部科学省 委
新規疾患モデル樹立に向けた小型霊長類コモンマーマセットの聴器・側頭骨に関する検討	藤岡正人	医学部臨床教室	2,080,000 円	補 ○ 文部科学省 委
内耳再生および内耳における超常磁性体酸化鉄ラベリング移植細胞の追跡法の検討	和多田有紀子	医学部臨床教室	2,340,000 円	補 ○ 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
マイクロRNA解析による頭頸部癌・婦人科癌の発癌機構の解明と新規治療戦略	宇野光祐	医学部臨床教室	1,950,000円	補 ○ 文部科学省 委
抗炎症物質レスバトロールによる糖尿病網膜症への治療効果の解析	久保田俊介	医学部臨床教室	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
糖尿病網膜症モデルにおけるHIF1- $\alpha$ の役割	持丸博史	医学部臨床教室	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
加齢黄斑変性に対する水素ガスによる抗酸化療法の効果の解析	厚東隆志	医学部臨床教室	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒトIPS細胞からの網膜神経節細胞の分化誘導系の確立ならびに緑内障の病態解明	結城賢弥	医学部総合医科学研究センター	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
重症ドライアイの眼表面の評価	番裕美子	医学部臨床教室	1,560,000円	補 ○ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームマウスにおける涙液分泌低下の発症機序と制御機構の解明	川島素子	医学部臨床教室	2,210,000円	補 ○ 文部科学省 委
活性酸素過剰発生モデルマウスを用いたドライアイ発症メカニズムの検証	内野裕一	医学部臨床教室	2,210,000円	補 ○ 文部科学省 委
高齢者における不定愁訴の原因解明とドライアイ罹患率の疫学的解析	内野美樹	医学部臨床教室	1,820,000円	補 ○ 文部科学省 委
加齢によるマイボーム腺機能不全ドライアイの病態生理	イブラヒムオサマモハメ	医学部	1,690,000円	補 ○ 文部科学省 委
難治性小児固形腫瘍におけるがん幹細胞ならびに人工がん幹細胞の樹立・解析	山本裕輝	医学部臨床教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
新鮮遺体を用いたMDCTによるリンパ管立体解剖の解析	山崎俊	医学部臨床教室	1,040,000円	補 ○ 文部科学省 委
敗血症における(プロ)レニン受容体ブロッカーの有効性に関する基礎的検討	平野佑樹	医学部臨床教室	2,080,000円	補 ○ 文部科学省 委
マルチガス環境構築によるニッチ環境	加藤靖浩	医学部基礎教室	910,000円	補 ○ 文部科学省 委
口腔外科手術による中枢性感作の誘発に対する疼痛関連遺伝子多型の関連について	村岡渡	医学部	2,340,000円	補 ○ 文部科学省 委
ヒト疾患および体質個人差に関するゲノム多様性情報の統合データベース	清水信義	医学部基礎教室	3,700,000円	補 ○ 文部科学省 委
組織内酸素分圧による造血器腫瘍幹細胞維持機構の解明と制御法の開発	石川千春	医学部総合医科学研究センター	1,599,000円	補 ○ 文部科学省 委
アトピー性皮膚炎モデルマウスの原因遺伝子の解明	塩濱愛子	医学部共同利用研究室	1,599,000円	補 ○ 文部科学省 委
マイクロRNAによる骨細胞分化調節機構の解明	越智広樹	医学部臨床教室	1,599,000円	補 ○ 文部科学省 委
In vivoヒト代謝システム生物学拠点	末松誠	医学部基礎教室	228,040,000円	補 ○ 文部科学省 委
幹細胞医学のための教育研究拠点	岡野栄之	医学部基礎教室	247,470,000円	補 ○ 文部科学省 委
細胞分裂制御(対称・非対称分裂)の操作による造血幹細胞増幅	新井文用	医学部坂口光洋記念講座	2,249,000円	補 ○ (独)日本学術振興会 委



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
トランスポゾンと他の遺伝子を区別する仕組みーゲノムにおける自己と非自己認識システムー	齋藤都暁	医学部基礎教室	7,709,000 円	補助 ○ (独)日本学術振興会 委
骨ネットワーク医学の分子基盤の解明と臨床応用	竹田秀	医学部寄附講座	1,300,000 円	補助 ○ (独)日本学術振興会 委
癌領域における基礎から臨床への翻訳能と国際競争力を有する次世代リーダーの育成	佐谷秀行	医学部附属先端医科学研究所	3,812,000 円	補助 ○ (独)日本学術振興会 委
日英米を結ぶ先端医学分野における国際共同研究	吉村昭彦	医学部基礎教室	29,700,000 円	補助 ○ (独)日本学術振興会 委

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 【論文発表等の実績】

雑誌名 巻 号 頁 発行年	題 名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism 95 4 2010 1981-1985	Transcription factor mutations and congenital hypothyroidism: systematic genetic screening of a population-based cohort of Japanese patients	鳴海覚志 他	慶應義塾大学地域小児医療調査研究寄附講座
American Journal of Medical Genetics Part A 152A 7 2010 1793-1797	A patient with Pendred syndrome whose goiter progressed with normal serum thyrotropin and iodine organification	鳴海覚志 他	慶應義塾大学地域小児医療調査研究寄附講座
Clinical Pediatric Endocrinology 19 4 2010 91-99	One Novel and Two Recurrent THRB Mutations Associated with Resistance to Thyroid Hormone: Structure-based Computational Mutation Prediction	鳴海覚志 他	慶應義塾大学地域小児医療調査研究寄附講座
Neuroscience 169 2 2010 609-618	Inhibition of N-methyl-d-aspartate receptor activity resulted in aberrant neuronal migration caused by delayed morphological development in the mouse neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学
J. Neurosci. 30 33 2010 10953-10966	Ectopic Reelin induces neuronal aggregation with a normal birthdate-dependent "inside-out" alignment in the developing neocortex.	仲嶋一範 他	解剖学
Cereb. Cortex, in press. 0 0 2010 0	Laminar and areal expression of Unc5d and its role in cortical cell survival.	仲嶋一範 他	解剖学
Biochem. Biophys. Res. Commun. 400 4 2010 631-637	Migration defects by DISC1 knockdown in C57BL/6, 129X1/SvJ, and ICR strains via in utero gene transfer and virus-mediated RNAi.	仲嶋一範 他	解剖学
Neuron 67 4 2010 588-602	Rab GTPases-dependent endocytic pathways regulate neuronal migration and maturation through N-Cadherin trafficking.	仲嶋一範 他	解剖学
Neuron 65 4 2010 480-489	Knockdown of DISC1 by in utero gene transfer disturbs postnatal dopaminergic maturation in the frontal cortex and leads to adult behavioral deficits.	仲嶋一範 他	解剖学
Cereb. Cortex 20 12 2010 2810-2817	CXCR4 is required for proper regional and laminar distribution of cortical somatostatin-, calretinin- and neuropeptide Y-expressing GABAergic interneurons.	仲嶋一範 他	解剖学
Neurosci. Res. 66 2010 37-45	Role of dual leucine zipper-bearing kinase (DLK/MUK/ZPK) in axonal growth.	仲嶋一範 他	解剖学
J. Biol. Chem. 285 8 2010 5878-5887	Dissecting the factors involved in the locomotion mode of neuronal migration in the developing cerebral cortex.	仲嶋一範 他	解剖学
Science 328 5976 2010 363-368	Cbln1 is a ligand for an orphan glutamate receptor delta2, a bidirectional synapse organizer.	掛川渉	生理学
Journal of Neuroscience 30 6 2010 2177-2187	Reevaluation of neurodegeneration in lurcher mice: constitutive ion fluxes cause cell death with, not by, autophagy.	掛川渉	生理学
Science	Reactivation of hepatic EPO synthesis in mice after PHD loss.	南嶋洋司 他	医化学

329	5990	2010				
	407					
Circulation						
122	10	2010	Loss of hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase activity in cardiomyocytes phenocopies ischemic cardiomyopathy.	南嶋洋司	他	医化学
	1004					
日本アルコール・薬物医学会雑誌						
45	5	2010	一般市民の飲酒、喫煙習慣と脳卒中危険因子としての多量飲酒、喫煙の認識	岡村智教	他	衛生学公衆衛生学
	411-419					
Genetics						
185	1	2010	The waved with open eyelids (woe) Locus is a Hypomorphic Mouse Mutation in Adam17.	木村徳宏	他	病理学
	245-255					
リウマチ科						
43	5	2010	変形性関節症における関節軟骨破壊	木村徳宏	他	病理学
	461-468					
Am J Pathol						
176	6	2010	RECK is up-regulated and involved in chondrocyte cloning in human osteoarthritic cartilage.	木村徳宏	他	病理学
	2858-2867					
Am J Respir Crit Care Med						
181	12	2010	Thyroid transcription factor-1 influences the early phase of compensatory lung growth in adult mice.	木村徳宏	他	病理学
	1397-1406					
J Orthop Res						
28	7	2010	Inhibition of STAT1 accelerates bone fracture healing.	木村徳宏	他	病理学
	937-941					
Osteoarthritis Cartilage						
18	7	2010	GRIP1 enhances estrogen receptor alpha-dependent extracellular matrix gene expression in chondrogenic cells.	木村徳宏	他	病理学
	934-941					
J Clin Invest						
120	7	2010	Periostin advances atherosclerotic and rheumatic cardiac valve degeneration by inducing angiogenesis and MMP production in humans and rodents.	木村徳宏	他	病理学
	2292-2306					
Neurosurgery						
67	3	2010	Clear cell meningiomas: three case reports with genetic characterization and review of the literature.	木村徳宏	他	病理学
	E870-E871					
Int J Cancer 2010						
127		2010	ADAM28 is a serological and histochemical marker for non-small-cell lung cancers.	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)
	1844-1856					
Ann Thoracic Surg						
90		2010	Mediastinal germ cell tumor with somatic-type malignancy : Report of 5 stage I/II cases	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)
	1014-1016					
Interact Cardiovasc Thorac Surg						
10		2010	Granulation tissue formation at the bronchial stump is reduced after stapler closure in comparison to suture closure in dogs.	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)
	356-359					
Am J Respir Crit Care Med						
181		2010	Thyroid Transcription Factor 1 Influences the Early Phase of Compensatory Lung Growth in Adult Mice.	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)
	1397-1406					
Jpn J Clin Oncol.						
40		2010	A Non-invasive Thymoma that Occurred 29 Years After Complete Resection of a Non-invasive Thymoma Accompanied by a Microthymoma.	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)
	986-8					
Eur J Cardiothorac Surg.						
		2011	Effect of cutting technique at the intersegmental plane during segmentectomy on expansion of the preserved segment: comparison between staplers and scissors in ex vivo pig lung. [Epub ahead of	泉陽太郎	他	外科学 (呼吸器)

			print]				
Plast Reconstr Surg	2010		Biomechanical Analysis of Surgical Correction of Syndactyly	宮本純平	他	形成外科学	
Inpress							
総合臨床	59	増刊	2010	感染症-婦人科・性感染症	橋場剛士	産婦人科学	
			191-196				
日本婦人科腫瘍学会雑誌	28	2	2010	卵巣癌初回治療後の再発サーベイランス方法の構築-ガイドライン作成のためのエビデンス作りを目指して-	野村弘行	他	産婦人科学
			132-137				
International Journal of Gynecological Cancer	20	3	2010	Lymph Node Metastasis in Grossly Apparent Stage I and II Epithelial Ovarian Cancer	野村弘行	他	産婦人科学
			341-345				
Gynecologic Oncology	118		2010	Amplification of GNAS may be an independent, qualitative, and reproducible biomarker to predict progression-free survival in epithelial ovarian cancer	野村弘行	他	産婦人科学
			160-166				
産婦人科の実際	58	8	2010	無結紮手術 (Biclamp, Ligasure, ハーモニック) - 広汎子宮全摘出術における Biclamp 使用の実際-	野村弘行	他	産婦人科学
			1195-1200				
Oncology Letters	1		2010	MicroRNA and endometrial cancer: Roles of small RNAs in human tumors and clinical applications (Review)	野村弘行	他	産婦人科学
			935-940				
European Journal of Gynaecological Oncology	31		2010	Effects of third line chemotherapy for women with recurrent ovarian cancer who received platinum/taxane regimens as first line chemotherapy.	野村弘行	他	産婦人科学
			364-368				
Annals of Oncology	22	3	2011	Randomized phase II study comparing docetaxel plus cisplatin, docetaxel plus carboplatin, and paclitaxel plus carboplatin in patients with advanced or recurrent endometrial carcinoma: Japanese Gynecologic Oncology Group trial (JGOG2041)	野村弘行	他	産婦人科学
			635-642				
産婦人科の実際	59	4	2010	今日の話題 迅速かつ簡便にゲノムワイドなコピー数解析を可能とする、新時代の whole genome amplification を用いた着床前遺伝子診断法	末岡浩		産婦人科学 (産科)
			641-646				
産婦人科治療	100	5	2010	特集 生殖補助医療(ART)の基礎と実際 着床前遺伝子診断の実際	末岡浩		産婦人科学 (産科)
			913-920				
J Assist Reprod Genet			2010	Green tea extracts attenuate doxorubicin-induced spermatogenic disorders in conjunction with higher telomerase activity in mice	末岡浩		産婦人科学 (産科)
遺伝子診療学 (第2版) 遺伝子診断の進歩とゲノム治療の展望	68	増刊8(通巻984)	2010	I.遺伝子診断 (Genetic Diagnosis) A.総論 5. 検査時期による遺伝学的検査と問題点 4)出生前、着床前の検査・診断	末岡浩		産婦人科学 (産科)
			196-204				
Acta Obstetrica et Gynecologica	89		2010	Pancreatic beta-cell function and fetal growth in gestational impaired glucose tolerance	宮越敬	他	産婦人科学 (産科)
			769-775				
日本産科婦人科学会雑誌	62	9	2010	クリニカルカンファレンス4 不育症 1) 着床前診断	末岡浩		産婦人科学 (産科)
			N-145-N-149				
Cytometry Research				迅速・簡便に網羅的コピー数解析を可能とする全ゲノム増幅を用いた着床前診断法	末岡浩		産婦人科学 (産科)

20	2	2010				
	5-11					
産婦人科の実際 外来診療マニュアル						
59	11	2010	第二部 II. 不妊・内分泌 1. 卵管性不妊	末岡浩		産婦人科学 (産科)
	1839-1842					
産婦人科の実際						
59	8	2010	無結紮手術 (Biclamp®, Ligasure®, ハーモニック) - 広汎子宮全摘出術における BiClamp®使用の実際 -	藤井多久磨	他	産婦人科学 (婦人科)
	1195-1200					
Japanese Journal of Clinical Oncology						
40	4	2010	Extraperitoneal approach induces postoperative inguinal hernia compared with transperitoneal approach after laparoscopic radical prostatectomy.	宮嶋哲	他	泌尿器科学
	349-352					
Carcinogenesis						
31	2	2010	Activation of the Aryl hydrocarbon receptor pathway enhances cancer cell invasion by up-regulating the MMP expression and is associated with poor prognosis in upper urinary tract urothelial cancer	石田勝		泌尿器科学
	287-295					
日本森田療法学会雑誌						
21	2	2010	妄想をもつ患者に対する森田療法的介入の可能性	新村秀人	他	精神・神経科学
	177-186					
Int J Radiat Oncol Biol Phys						
77	3	2010	Early Graphical Appearance of Radiation Pneumonitis Correlates With the Severity of Radiation Pneumonitis After Stereotactic Body Radiotherapy (SBRT) in Patients With Lung Tumors	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
	685-690					
J Radiat Res						
51	5	2010	Evaluation of the dosimetric parameters for 125I brachytherapy determined in prostate medium using CT images	大橋俊夫	他	放射線科学 (治療)
	553-561					
映像情報 Medical						
42	5	2010	産婦人科領域における MRI 3D 撮像法	奥田茂男	他	放射線科学 (診断)
	534-539					
Brain Nursing						
夏季増刊		2010	脳神経疾患の画像の見かた：頭蓋単純 X 線撮影	百島祐貴		放射線科学 (診断)
	30-34					
神経内科						
73	2	2010	鉄沈着の画像診断	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
	110-116					
からだの科学						
265		2010	神経内科の病気のすべて：CT・MRI	百島祐貴		放射線科学 (診断)
	21-25					
臨床放射線						
55	11	2010	MRI による認知症の鑑別診断	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
	1346-1353					
Mol Syndromol						
1	2	2010	Juvenile Muscular Atrophy of a Unilateral Upper Extremity (Hirayama Disease) in a Patient with CHARGE Syndrome.	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
	33329					
Neurol Med Chir (Tokyo)						
50	10	2010	Intracranial epidermoid tumor with changes in signal intensity on magnetic resonance imaging because of non-hemorrhagic pathology: case report.	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
	936-8					
Radiology						
254	1	2010	Differences in CT perfusion maps generated by different commercial software: quantitative analysis by using identical source data of acute stroke patients.	百島祐貴	他	放射線科学 (診断)
	200-209					
日本歯科医師会雑誌						
69	9	2010	抗血栓療法患者に対する抜歯時の対応について一科学的根拠に基づくガイドライン作成にあたり	矢郷香		歯科・口腔外科学

33-41				
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	2011	Mulvihill-Smith syndrome: A case report	矢郷香	他 歯科・口腔外科学
医薬ジャーナル	46 10 2010	フェーズ・ゼロ "バイオマーカー試験" の動向	今村知世	他 臨床薬剤学
	2485-2490			
Journal of Clinical Oncology	28 2010	Significant effect of polymorphisms in CYP2D6 and ABCC2 on clinical outcomes of adjuvant tamoxifen therapy for breast cancer patients	谷川原祐介	他 臨床薬剤学
	1287-1293			
Oncology Report	24 2010	Pharmacokinetics of S-1 and CYP2A6 genotype in Japanese patients with advanced cancer	谷川原祐介	他 臨床薬剤学
	529-536			
日本化学療法学会雑誌	58 2 2010	抗 MRSA 薬の TDM に関する全国アンケート調査	谷川原祐介	他 臨床薬剤学
	119-124			
TDM研究	27 2 2010	硫酸アルベカシンの血中濃度モニタリング施行患者に対する特定使用成績調査	谷川原祐介	臨床薬剤学
	55-71			
腫瘍内科	7 1 2011	日本における Research IND の可能性?	今村知世	他 臨床薬剤学
	116-120			
Brain tumor pathology	27 1 2010	Parasagittal solitary fibrous tumor resembling hemangiopericytoma.	三上修治	他 病理診断部
	35-38			
Clinical Nephrology	73 1 2010	Metal ion and vitamin adsorption profiles of phosphate binder ion-exchange resins	井上浩義	他 医学部 (日吉)
	30-35			

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載にあたって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること (当該医療機関に所属する医師などが主たる研究者であるものに限る)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 武田 純三
管理担当者氏名	医療事務室 清水 憲吾 総務担当次長 朝倉 崇 総務担当次長 松田 美紀子 薬剤部次長 河村 俊一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療事務室 (中央病歴室)	外来診療録は、一患者一番号、各科ファイル。電算機により集中管理しており効率的に管理するため、アクティブカルテとインアクティブに区別して管理している。入院診療録は、患者番号を付与し入院年毎に管理している。レントゲンフィルムは、電子媒体にて保存している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医療事務室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援センター本部	
	高度の医療の研修の実績	卒後臨床研修センター	
	閲覧実績	医療事務室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療事務室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療事務室 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の体制第一の確保各号の状況及び第九の二十	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療事務室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	

	三 第 一 項 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口
--	--	--------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御センター
	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御センター	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御センター	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御センター	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医用工学センター	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学センター・中央放射線技術室		



(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務局長 本田 博哉
閲覧担当者氏名	医療事務室長 清水 憲吾 医療事務室課長 山本 慎一 総務担当次長 朝倉 崇 総務担次長 松田 美紀子
閲覧の求めに応じる場所	第一応接室、中央病歴室閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	66.1%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	22,002人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,642人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	3,416人	
	D: 初診の患者の数	49,607人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策および医療事故発生時の対応方法等について、指針を示すことにより適切な医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資すること	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
・ 活動の主な内容：院内安全対策委員会（8月を除き毎月1回）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	定例 年 4 回 臨時 年 5 回
・ 研修の主な内容：院内安全対策セミナー、全教職員対象（定例開催 6月、9月、10月、1月） （臨時開催 4月、11月1回）  注）参加できなかった教職員のために別途、録画CDを上映（CD視聴会）し、機会を設けている。定例年3回（7月、12月、3月）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ワーキンググループによる医療安全対策・策定・実施 ○呼吸管理 ○侵襲的処置（血管内・血管外） ○身体抑制 ○薬剤に関する医療安全検討委員会（小委員会） ○救急カート標準化WG ・ 持参薬 WG ・ 院外薬局からの照会対応WG・ 様尿病治療薬の安全使用に関するWG ・ 内視鏡検査・治療時のワーファリンと抗血小板薬の休薬に関する指針WG	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 2 名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 5 名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任（ 6 ）名 兼任（ 3 ）名 ・ 活動の主な内容：医療安全管理部門の業務指針および医療安全管理者業務に関する申し合わせに準じて、業務を遂行。 教職員への安全管理に関する教育・指導（研修会の開催）ならびに検証 安全対策の企画・立案、医療事故（重大）発生時の対応、裁判外紛争処理等 院内安全対策委員会・安全管理に関わる小委員会の事務局	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無								
<p>・ 指針の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>① 院内感染対策に関する基本的な考え方</td><td>⑤ 院内感染状況の報告</td></tr><tr><td>② 感染制御センターの設置</td><td>⑥ 院内感染発生時の対応</td></tr><tr><td>③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置</td><td>⑦ 患者への情報提供と説明</td></tr><tr><td>④ 職員研修</td><td>⑧ 病院における院内感染対策の推進</td></tr></table>		① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告	② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応	③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明	④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進
① 院内感染対策に関する基本的な考え方	⑤ 院内感染状況の報告								
② 感染制御センターの設置	⑥ 院内感染発生時の対応								
③ 感染対策運営委員会および感染専門委員会の設置	⑦ 患者への情報提供と説明								
④ 職員研修	⑧ 病院における院内感染対策の推進								
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 18 回								
<p>・ 活動の主な内容：感染対策運営委員会（月1回、年12回開催） 感染専門委員会（隔月、年6回および臨時開催）</p>									
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回								
<p>・ 研修の主な内容：院内感染対策講習会：全教職員対象（5月、7月、10月、11月、12月、3月） 注）参加できなかった教職員のために別途、録画CDを上映（CD視聴会）し、機会を設けている。年3回（7月、12月、3月） 院内における感染症・耐性菌など発生状況、感染対策の基本・防護具の使用 抗菌薬の適正使用、手術部位感染対策適切な検体採取など</p>									
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況									
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、アスペルギルス、血液曝露</td></tr><tr><td>② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週1回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）</td></tr></table>		① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、アスペルギルス、血液曝露	② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週1回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）						
① サーベイランス：耐性菌、抗酸菌、ICU、NICU、デバイス、SSI、血液培養、アスペルギルス、血液曝露									
② ラウンド：血液培養陽性患者・耐性菌検出患者（毎日） 抗菌薬適正使用（週1回） 病棟・外来・その他の施設環境（週1回） スタンダードプリコーション・職員意識調査（年数回）									

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容：資料 1	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (○有・無) ・ 業務の主な内容： 手順書に基づく業務の実施状況の直近の確認日：平成22年12月20日 主に外来診察室及び病棟、薬剤部における医師、看護師、薬剤師などに対して手順書の管理状況と手順書に基づく業務の実施の確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 資料 2、資料 3 参照	

## 医薬品に係る安全管理のための体制

## ③医薬品の安全使用のための研修の実施状況

- 平成 22 年 4 月 研修医注射点滴調製研修（参加人数：36 名）  
処方入力時の注意と点滴調製の手技
- 平成 22 年 6 月 院内安全対策セミナー（参加人数：588 名）  
医薬品の安全使用に向けて  
—ヒヤリ・ハット事例を中心に—
- 平成 22 年 8 月 院内安全対策セミナー（参加人数：291 名）  
院内安全対策としての内服薬処方せんの記載方法の標準化について
- 平成 23 年 3 月 看護師注射点滴調製研修（参加人数：92 名）  
薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習
- 平成 23 年 3 月 研修医・専修医オーダーリングトレーニング（参加人数：105 名）  
内・外用薬処方入力、注射点滴処方入力、検査・画像オーダー入力など
- 平成 23 年 3 月 感染対策講習会（参加人数：677 名）  
抗菌薬の適正使用
- 平成 23 年 4 月 研修医注射点滴調製研修（参加人数：33 名）  
処方入力時の注意と点滴調製の手技
- 平成 23 年 6 月 院内安全対策セミナー（参加人数：725 名）6 月 14 日実施  
医薬品の安全使用に向けて
- 平成 23 年 7 月 院内安全対策セミナー  
糖尿病治療薬の安全使用について
- 平成 24 年 3 月 看護師注射点滴調製研修  
薬剤の基礎知識と管理を含めた講義と演習
- 平成 24 年 3 月 研修医・専修医オーダーリングトレーニング  
内・外用薬処方入力、注射点滴処方入力、検査・画像オーダー入力など
- 平成 24 年 3 月 感染対策講習会  
抗菌薬の適正使用

## 医薬品に係る安全管理のための体制

⑦医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施

### 医薬品に係る添付文書等の収集

#### 【収集情報を具体的に記入】

- ・ 添付文書、インタビューフォーム、「使用上の注意」の解説、製品情報概要、患者・医療者向け説明書等関連資料は、採用時より収集し、専用の薬剤別ファイルに保管している。
- ・ 改訂があった場合には、改訂案内とともに必要部数を提供するよう、各メーカーには依頼している。
- ・ 医薬品卸会社提供の情報サービスにより更新情報を入手し、改訂された資料が届いているかをチェックしている。また、同内容を薬剤部員へメール配信している。更に年に1回各社に更新されたものを提供するよう、依頼している。

### 得られた情報のうち必要なものについて医薬品を取り扱う職員に対しての周知

#### 【周知方法を具体的に記入】

- ・ 医薬品機構より入手した「使用上の注意改訂指示」、「DSU」、「医薬品医療機器等安全性情報」について、院内採用薬の商品名を併記し薬事委員を通じて各診療科へメールでお知らせしている。「医薬品医療機器等安全性情報」については更に院内のオンライン掲示板及びイントラネットの Web ページに掲載している。また、薬剤部職員にも同様にメール配信を行っている。
- ・ 必要に応じて、全部署・全診療科に向けたインフォメーションを発出し、院内のオンライン掲示板並びにイントラネットの Web ページに掲載し、同時に薬事委員並びに薬剤部員へメール配信している。
- ・ 特に安全面に於いて影響が大きいと思われるものについては、個別に診療科の薬事委員または専門医に電話またはメールにて連絡をとり、更に薬剤部職員へ周知している。場合によっては処方患者を同定の上、連絡している。

## 医薬品に係る安全管理のための体制

## ⑧その他（病院独自で取り組んでいる内容）

## ＜内外用薬＞

## 【処方入力における対策】

- ・ 散剤の入力を力価（分量）に統一。
- ・ 規格が複数ある薬剤に関しては「グループ登録」を行い、医師がオーダー入力時に薬剤名の表示色を反転させ、注意を喚起している。
- ・ ワルファリン、アーチスト製剤は複数規格があり、これら複数規格を組み合わせる場合、入力ミスが起こりやすいことから必要な「mg 数」を入力するだけで、適切な規格と錠数に振り分ける機能を構築している。

## 【調剤における対策】

- ・ ハイリスク薬（糖尿病（内服・インスリン）、抗がん剤、ワルファリン製剤、ジゴキシン製剤、テオフィリン製剤、抗血小板製剤：全 85 薬品）に関しては、バーコードを用いた認証システムを用いて調剤を行っている。
- ・ ハイリスク薬が処方された場合、処方せんに前回処方内容および過去 1 ヶ月の処方歴が印字させる鑑査支援システムを構築している。

## ＜注射薬＞

## 【処方入力における対策】

## （抗がん剤）

- ・ 抗がん剤すべてプロトコル単位でのみ入力が可能、そのプロトコルは診療科申請後、レジメン審査委員会の承認を受けないと使用ができない。
- ・ 一般注射（抗がん剤以外）の入力画面とは異なる画面を使用しなければならない。

## （一般注射）

- ・ 処方入力時に各薬剤特有の注意情報が画面に展開される、また投与量、投与方法についても適正に処方されていない場合はエラー表示がでる。

## 【調剤・調製における対策】

- ・ 小児 3 病棟についてはすべての注射薬、ICU は 250mL 以上、その他一般病棟においては 500mL 以上の Rp. の混合調製を行っている。
- ・ 個人別取り揃えの鑑査には厚労省が薦めている医療安全を目的とした医薬品バーコードを用いて、部門システムによるバーコード認証を行っている。
- ・ 調製後の鑑査、調製済薬剤の患者確認など部門システムで印字させたバーコードを用いて認証している。



<その他>

- ・ 部門システム導入により、従来不可能であった内外用薬処方せんと注射処方せんにまたがる併用禁忌のチェックが処方せん出力時にできるようになった。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14回
研修の主な内容： 全従業者を対象として助細動器 特定の従業者を対象として：人工心肺装置及び補助循環装置 人工呼吸器 血液浄化装置 閉鎖式保育器 診療用高エネルギー放射線発生装置 診療用放射線照射装置	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) ・ 保守点検の主な内容： 臨床工学士による定期点検：除細動器 メーカーによる定期点検：人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置 閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 医療機器に関するインシデント報告の内容分析 (原因と対策) (2) 分析結果の周知 (3) 医薬品医療機器総合機構 (Pmda) 及び日本医療機能評価機構からの安全性情報の周知 (4) 医療機器メーカーからの安全性情報の周知	